無産階級戰鬪雜誌

進め

第四年・十月・第十號

定價十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞無代贈呈す

◆本號一瞥◆

□共産黨排すべき乎 共産主義排すべき乎……卷頭言
□時事論評……同人
□大衆運動と指導者……赤松克麿
□諸税金不納同盟の 法律的考察……布施辰治
□小作法と未組織農民……神庭仲之助
□大衆の進路……工藤勝市
□失業問題の解決か 資本主義の解決か……山川亮
□新社會の勞働と 慾望生活の關係……吉田源藏
□農民を死に導く 自作農創定案……友實孫四郎
□フランツ・メーリング……淺野研眞
□創作 狂人の戀……吉田金重
□勞働婦人は無産階級 運動の鍵を握るもの……吉田はつ
□理想郷物語 社會主義社會……西下貞
□社會運動の根本觀念……澤井龍之助
□共同戰線の一方向……金熙明

全土戰報

□不道德な醫師……岩井創
□見ろ！此の窮狀を……川田紅葉
□越中を中心として……村山銀次郎
□搾取城下にて……吉田源藏
□無組織な新潟……高田渡維
□嗤ふべき勤儉奬勵……H・V生
□團結の必要……鬼頭義治
□錯覺せる驛長……好陽生

諸君の書齋
組合の壁間 を飾れ

――注文は振替の利用最も安全――
――多數又は團體注文は割引す――

第五版
社會思想家寫眞集
一部五拾錢
送料四錢

寫眞集は双方共四六倍版アート紙で極めて美麗。收むる所社會思想家寫眞集には、サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウイルヘルム・リーブクネヒト、カール・リーブクネヒト、クロポトキン、ラッサール、レーニン、トロツキーの拾三葉。マルクス寫眞集には、マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免状、マルクスの署名、マルクスの旅行免状、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の拾一葉。何づれも我等の永久に記念すべき貴重なものである。各思想・勞働團體より注文殺到す。賣切れない中に至急申込まれたし。

第四版
マルクス寫眞集
一部五拾錢
送料四錢

三十版出來一部
參拾貳錢送料共

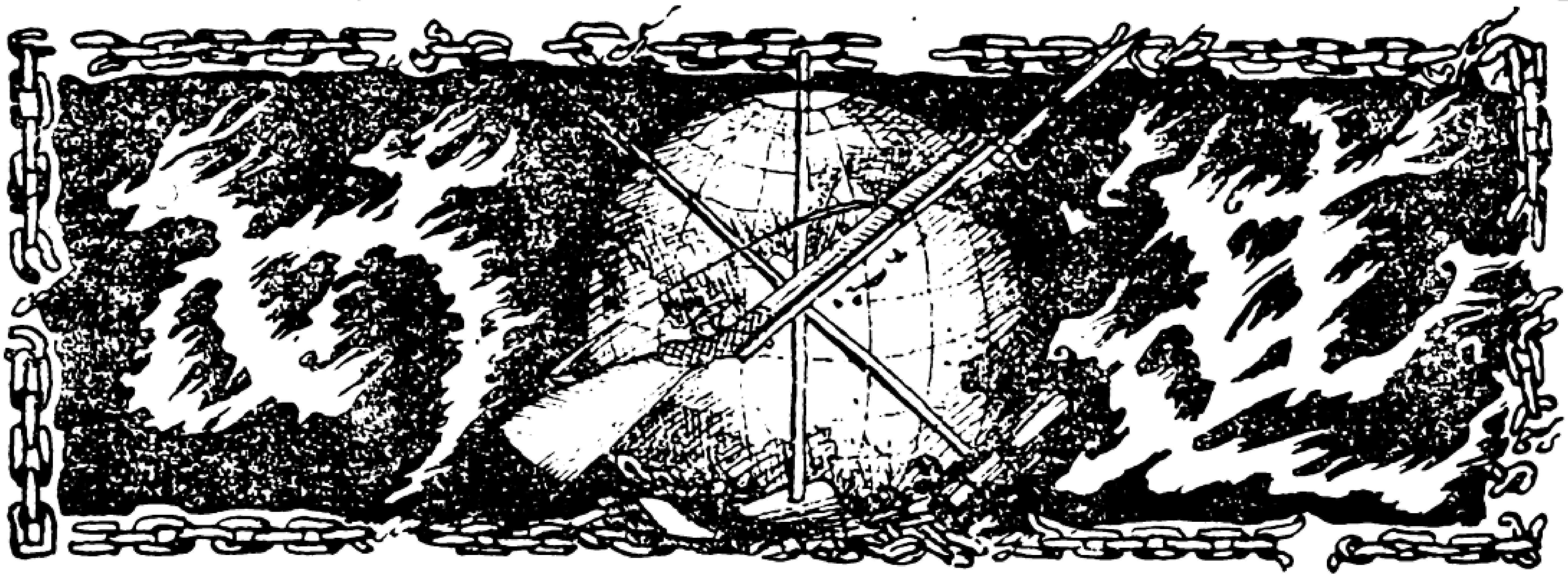
コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

マルクス寫眞無代贈呈

マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無産階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ、複寫して讀者に配布することゝした。誌代一ヶ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

再版
淺野研眞述
日本勞働運動小史
一部五拾錢
送料四錢

明治大正を通じての日本勞働運動の狀勢を細大洩らさず百三十頁の小册子へ收めてある。著者は日本大學の講師として專門的の教鞭をとられてゐる熱烈なる青年學徒である。日本勞働運動の歴史を知らんとする者は是非一本を備ふべきである。



第四年 戰鬪 進め 雜誌 第十號

共産主義排すべき乎

共産黨排すべき乎

一箇の妖怪日本社會運動を攪亂す。日本共産黨則ち是れ也。勞働總同盟も、農民組合も、水平社も、自治會も、咸な此の爪牙にかゝりて其の團結と威力を失ふ。其の災害や甚大、軍國主義の劔の如し。

彼等は共産主義と稱すれども其の實體はレーニンズムにして權力を謳歌する者也。○○○○○○○○○○○、實に閥族專制の非社會主義思想の上に立てり。

見よ、彼の露西亞を。社會主義共和國と誇れども其の正體や共産主義の衣冠を着けたるムッソリニーの徒なるは識者を俟たずして三才の無産小兒も首肯する所に非ずや此故に吾人は露國を以て社會主義を冒瀆するものとして糺彈するもの也、

而して、日本共産黨と稱する一團も亦露國權力階級の如く惡辣極まりなき權謀譎詐を以て無産階級運動に喰み這れ紛亂破壞しつゝあるを責めづんばあるべからず。

何が故に吾人は爾くこれを大聲疾呼するや。

曰く、大庭柯公を中傷し、露國に於て虐殺したる事。

曰く、總同盟を掠奪せんとせし事。

曰く、農民組合を乘取りし事。

曰く、水平社に非同人を入れて攪亂せし事。

曰く、自治會を盜取せんとして紛擾せしめたる事。

曰く、政治研究會を奪取せし事。

曰く、勞働農民黨を混亂せしめつゝある事。其他に數ふれば枚擧に遑あらざる也。

しかも彼等の叫ぶは總聯合、單一政黨なりと雖も常に離間中傷、流言蜚語を以つて巧みに組合を陷れ、集團を紊る此の事實を見て其の詭辯を知るべき而已。

加之彼等の策動や盡く露國の指示に依つて行ふ。而して是に依つて莫大の宣傳費を享くるもの也。

是に於て是を見れば、彼等は眞理を抱く革命の使徒にあらずして黃金の前に跪く商賈に非ずや、彼等と雖も○○○○○○○○○○によつて起るものにあらざるを知るならん。

之を要するに彼等は無産階級の團結を慾するにあらずして結合を破壞するや炳乎として明らか也。

夫れ無産階級の前進を阻止するものを反動主義者と云ふべくんば、渠れ共産黨評議會も又吾が無産階級に反逆する反動主義者なるは勿論也。

不幸なる哉。吾が無産階級は外資本主義と闘ひつゝ亦一箇の反動主義者と戰はざるべからず。此の一派や我が無産階級の內部に潜入して其の結合を破りつゝある最も恐るべき內敵共産評議の徒にして戰線の前途益々多忙なりと謂ふべし。

嗚呼、露國政府何故に吾が社會運動を攪亂するや。

嗚呼日本共産黨評議會何故に吾が解放運動を騷擾せしむるや。

吾人は日本社會運動の遲々として振はざるを此の怪物橫行と斷定するに躊躇せざる者也。

近時日本共産黨の醜體暴狀漸く看破され全土に排擊の聲澎湃と起れり。

噫共産黨排すべき乎、共産主義排すべき乎。

余は共産主義の排すべきに非ずして、共産黨、評議會を討滅すべきを痛切に感ずる者也。

而して閥族が共産主義を標榜せる爲め大衆の誤解する者多きを悲しむ。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

豈吾一人之を悲しむ者にあらずして後の世の無産階級亦之を悲しまん、

（自治會騷擾の夜、福田）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事論評

同人

自治會の共産派除名
現實主義の勝利

■純理派と現實派との二個の相容れざる主張が、我が國勞働運動の本流爭ひに鎬を削づる樣になつた根本的動因は、昨年の四月の總同盟の分裂である。爾來純理共産派は眞向から資本主義の滅亡期にある事を叫び、急進的なる政治行動による〇〇權力の〇〇を說へつゝある。

■市電自治會は分裂すべくして遂ひに分裂した。其の分裂の最大原因を爲すものは、同會に於ける組合員中政治行動に對する二ツの異つた意見の衝突と、左翼幹部の組合攪亂策とにある。共産黨は何處へ行くも、乘取りの常習を恐れられ、極度に警戒され今や全く勢力の擴大は不可能な狀態に置かれてゐた。然る處こゝに全日本の交通勞働者を抱合し日本勞働運動の一勢力たる市電自治會の存在は、彼等共産黨の毒手を免れなかつた。殊に自治會は今日迄其の黨派的色彩を現はさゞりし點に於いては正に處女と云ふべきものであつた。此の好餌に着眼した共産黨は好涎直ちに與みすべしと輩下の者をして一部幹部の買收に着手し、玆に自治會乘取りの魔手が漸やく延ばされんとしたのである。然るに此の危運を目ざとく看取した右翼幹部に早くも此の陰謀が觀破された爲め彼等の宿望遂ひに成らず、全組合員の猛烈なる攻擊の下に八月二十一日の中央委員會で投票の結果、最大多數を以つて除名されたのである。

■共産黨一派は今日迄各友朋團體の乘取りを劃策し、分裂を企だてた事は、斷じて一再に止まらない。然しながら悲慘にも其の計畫は何日も物の美事に失敗を繰り返へしつゝある。今回の自治會乘取り陰謀暴露の如き、其の最も顯著なるものと云ふべきであらう。

■殊に憎くむべきは彼等の分裂政策の野卑下劣な事である。組合費を故意に不納しながら本部財政の紊亂を口實にする等、其の手段、方法は市井常に行はれつゝある所の無賴漢の行爲其のものである。自治會本部の聲明書を手にする時、彼等は如何に醜陋なる手段を以つて幹部を陷入れんとし、如何に奸譎なる政策を弄して解放運動を阻害しつゝあるかを見る。

■共産黨一派は今や殆んど立場に窮し、左翼幹部をして其の共産主義者にあらざる事を證明する爲めに極力辯護してゐる。大衆九月號『當面の問題』に「自治會分裂反對同盟の態度は嘗つて總同盟の分裂當時に於ける革新同盟の態度から見るならば遙かに左翼的でない事を絕對に必要とする。寧ろ成るべく調子を下げて本部の廓清と全無產階級運動への邁進とを標語として大衆に訴へ、其の方針の下に活動しなくてはならないだらう。」又曰く「反對同盟は何處迄も共產的色彩を明らかにせず、隱忍自重して、中間派的組合や同志の支持を負ひ」とある。苟しくもマルキシストは其の抱懷する所の主義政見を陰蔽する事を最大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の恥辱としなければならない。自己の立場は不利に陷つたから共産的色彩を明らかにせず、ズッとレベルを下げて大衆の媚を買ひ中間派的組合の支持を得て迄も運動を持續せんとするが如きは自稱コンミユニズムに背反するにあらざるか。此の理論から推して行けば自己の立場は最も不利に陷つた場合は、敢へて無産者運動破壞をもやらなければならなくなつてくるにあらざるか。それとも自稱だから時と場合に依つては如何樣にも變化するのであるか。要するに彼等は眞個のコンミユニストにあらずフアンである。我々は彼等の斯かゝる詭辯に斷じて惑はされてはならないのである。

■全國の無産階級は共産黨一派の陰險なる陰謀と、陋劣なる行動とを看破し、老猾狐狸の如き彼等を日本無産階級運動の爲め速やかに葬つて了はなくてはならない。彼等が存在して日本社會運動を毒しつゝある間は日本無産階級は斷じて永遠に解放の光りを見る事が出來ないであらう。

■日本刻下の社會運動は現實主義の勝利である。斯くて自稱革命家、コンミユニストフアンの眞相は日一日と明らかにされて行く。

■我々は再び云ふ日本無産階級は左翼小兒病患者たる共産黨一派の所謂革命的言動に迷はされてはならない。

近世の産物

ダラ幹とゴマの蠅

■共産黨の機關紙無産者新聞に組合の幹部にして共産黨や評議會に非らざる者を罵倒するにダラ幹の語を以つてする。蓋し墮落幹部の謂ひである。

■又所謂アンチ共産黨側では彼等共産黨派を罵るにゴマの蠅を以つてする。是れは共産黨は常に胡魔の蠅に劣るとも斷じて優らざる行爲を爲しつゝあるからである。

■吾々をして云はしむれば斷えず無産者運動を阻害し、ゴマの蠅を働きつゝある（詳細なる事は從來の誌上で公表してあるから茲では再録しない）共産黨及び評議會の幹部こそダラ幹の最も尤なるものであると云はざるを得ない。

■ダラ幹と胡魔の蠅、聞くだに厭な言葉である。我が無産階級は再び是れを聞かざる樣、ダラ幹たる共産黨一派の胡魔の蠅を徹底的に葬らねばならぬ。

左傾と右傾

■左傾派必ずしも排すべきではないと共に右傾派必ずしも斥くべきではない。我々の云はんとする所は左傾、右傾の政策の如何にあらずして、要は腹のドン底にある○○○○○○○○○○○○○。眞の○○魂を把持してゐるものなれば左傾でも右傾でも斷じて誤りはない。

■共産黨、評議會の如く徒らに資本主義崩壞期に於ける○○。誰も、ルバーシユカを着たとてロシア人と思ふ者はない。其の主義綱領は如何に立派であつても、○○○○○○○○○○○○○○○○○○、遂ひに一箇の案山子である。

■所謂右傾派の代表的論客赤松君や其他の人々が彼等に對するに左傾を以つてするのは些か物足りない。今後は宜しく、胡魔の蠅呼ばはりをすべきが妥當である。彼等は、今日迄個人としては友を賣り、同志を陷入れ、團體としては組合を乘つ取り、スカップを企つ。近藤榮藏が上海から持つてきた大杉の金九千圓を堺、山川、荒畑等が之れを橫領したのである。爾來大杉が彼等を罵しるにゴマの蠅を以つてした。其他彼等は同志間道德を無視し言語に絶せる惡事を爲してゐる。實に彼等こそは無産階級の衣を着た獅子身中の蟲である。

■所謂右傾派も今後は左傾派排斥と云ふが如き反動主義者の云ふような言葉を用ひず日本社會運動の廓淸、內敵排除と云ふ大義名分の下に彼等を排斥せん事を望む。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

共産化せる日本農民組合

■日本農民組合は第一次無産政黨組織當初から日本共産黨と策を倶にし、握手するやも知れざる傾向があつた。而して第二次無産政黨即ち勞働農民黨の成立中ばに及び愈々其の色彩の濃厚なるを伺はせてゐたが、今や全く其の提携成り、完全に日本共産黨の支配下に置かれた。即ち日本共産黨の指揮官たる露國の奴隷となつたのである。賀川系として、世人に知られてゐた組合長杉山元治郎氏は既に昔の人となり今や共産黨の支配下にある杉山元治郎氏を我々は今日見るのである。

■最近露國との頻繁なる交渉と本部改革に名を藉りて、純眞なる闘士行政長藏氏を葬り、而かも竊盗を爲せる大西某を蔽ふが如き陋策を爲す等、其他の事實に依つて共産黨と最も濃厚なる取引の行はれた事を我々は確然と見つめたのである。勿論是れ等の事は共産黨の指揮に依つて行はれたものであることは云ふに及ばない。

■亦本年春に香川縣聯合會を除名された前川某を本部員として使つてゐる事等も奇とすべき一つである。

■本部の基金が杉山氏の政治運動に悉皆費消され、尚ほ友黨組合に借金があるとの、噂をも耳にする。然るに正直なる地方の組合員は本部費の値上げを何等怪しむ所なく、却つて杉山氏は今に大政治家になると信じ、農民の救世主として崇拜してゐる事などは實に啞然たらざるを得ないのである。

■我々は今彼等の行動を監視し其の一擧一動を注意するに及んで次の事を斷言するに憚らない即ち日本農民組合は遠き將來を出でずして、本部に內紛を生じ瓦解するに至り、各聯合會は地方的に獨立し、全體に於いて組合員が減少する事は火を見るよりも明かである。

■日本農民組合は共産黨の陰險なるを知らない。殊に組合長杉山氏等は政治運動を始める樣になつてから餘程人格的に變化したらしい。我々はクリスチャンたる、杉山氏の思想的變化を望むものであるが、其れと同時に共産黨一派と相通じ無産者運動冒瀆の動因を作らんとしてゐる事を茲に警しめるものである。

■思ふに今や日本農民組合は共産黨との提携に依り重大なる危機に當面してゐる。地方の組合員たる者、尻の毛を拔かれぬ先に其の危險を意識し、大改革を試みて地主に對し、屑一屑激烈なる戰端を開くべく自己の本城を固めなくてはならない。

革命兒蔣介石

■北伐軍の總帥蔣介石は社會主義國家建設の雄圖を抱き、廣東の雜蛩や閥賊を葬り、長驅して湖南を略し、岳洲を取り、武昌を陷れた。

■支那のナポレオンたる吳佩孚も亦爲めに顏色なき有樣である彼は思想家であり、士卒皆社會主義王國に突進するものである信念と熱の集合の前には、近世の精銳なる武器を有せる吳軍の如きは殆んど人形に等しいものであつて到底革命軍の敵でない彼は數ケ月にして南方全部を取りて了ふ事も明らかに知る事は出來る。

■然し乍ら我等は長江以南に止まつて進まざらん事を希望するものである。南方は富饒にして人亦た多し。國家として優に自給自足が可能である。故に社會主義國家の成立は易々たる事である。

■亞細亞に於ける社會主義國家否世界に於ける始めての國家は現出する。

■ロシアは社會主義を標傍するも其の實質に於いて、秦の始皇の如き暴政を敢えてしてゐる。ロシアに於いては自由も平等もない。ロシアの無産階級は資本主義の桎梏を離れて、今や監獄國家に苦しめられてゐる。

■我等は蔣君等がロシアの轍を踏まざる事を冀ひ、彼の健鬪を祈る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆運動と指導者

赤松克麿

大衆運動に指導者は必要である。我國の社會運動に於て、サンヂカリズムの全盛を極めた頃は、「指導者排斥」といふことが一時流行した。

當時サンヂカリストの說によると、大衆自らが自然的に聰明な本能を所有して居るのだから指導者が大衆をアチラへ行けとかコチラへ行けとか指圖するのは甚だ間違つたことである。指導者は不要なものである。團體組織の中に委員の制度は必要であるけれども、それは單なる事務上の便宜機關であつて何等それ以外の權限を有しないといふのである。

もとより、指導者と大衆との關係は、封建的主從關係があつてはならない。英雄的な、獨裁的な指導者の存在は、近代精神の一基調である民主主義と相反するものである。しかしながら、一切の指導者を不必要とする考へ方に、空想的要素の濃厚であることは多言を要しない。大衆それ自身が、つねに自然的に聰明な本能によつて動いて居るとは考へられない。大衆が組織的行動に出る場合には、常に指導者を必要とする。そして其の指導者の聰明であると否とが、大衆の行動の結果の上に、大きな影響を與へることも明瞭な事柄である。

大衆運動に指導者を必要とすることが、當然の事柄だとすれば、問題は、聰明なる指導者とは如何なる者をいふのかといふことになる。

私は、それは社會運動に關係ある一切の社會現象に對する正しき認識力と、それに基いて最も合理的な戰術を案出し得る創造力とを有する指導者であると斷定する。マルクス主義の理論に通曉して居るとか革命的情熱が豊だとかいふことのみは、正しい指導者たるの條件ではない。而して如上の意味に於ける認識力と創造力とは一定の型にとらはれたドクマテイックのものであつてはいけない。それは何處までも近代科學の精神である自由討究の態度から生れたものであり、そして經驗的であり實證的でなければならぬ。若し指導者の指導方針が一定の型にはまつてしまへば、その人はイズムの指導者であつて大衆運動の指導者ではない。

大衆運動の指導者は大衆の生活利益を絕對の指標とするけれども、その認識力と創造力とに於て、あくまで階級的であると同時に囚はれざる態度を持しなければならぬ。

大衆の指導者は常に一面に於て大衆より聰明でなければならぬが、また一面に於て常に大衆の切實なる現實的生活意識に立脚しなければならぬ。大衆は遠大なる理想に憧れるよりも、當面の生活幸福を追求する。若し指導者が、此の大衆の幸福追求感を無視し又は輕視して、社會變革のことのみに意を注ぐならば、それは指導者たるの資格を奪はるべき人である。かの社會革命をのみ志す職業的革命家の一團が、自派の手に政權を奪取するがために、大衆の勢力を利用せんとするが如きは、大衆を踏み臺にするものであつて、大衆運動の正道を外れたものである。

大衆運動の指導者は、右足を大衆の現實的生活感に置くと共に、左足を理想の方向へ一歩踏み出さなければならぬ。

大衆の日常生活を能く理解し、その日常鬪爭を有利に解決すると共に、大衆の生活意識をより高い方向へ向けて行かねばならぬ。

而して大衆生活の未來への進化發展を示唆する學說として、マルクス主義が最も多くの啓示を含んでゐるとは云へる。處で大衆の生活意識を理解せず、且つその日常鬪爭を有利に解決することの出來ない指導者は、どんなに辯證法的唯物論に造詣が深くとも、指導者たるの資格なきものである。

大衆の切實なる生活意識は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働争議の際に最も能く現はれる。勞働争議のときには、當面の勞働條件を幾分でも改善したいといふ熱意が、争議團員の胸に一杯である。

そこには一切の理論は拔きである。マルクスの言も、レーニンの言も何等の權威はない。我々の生活向上のために、當面の争議を有利に解決しなければならぬ。

そして其れがためには妥當だと思はれる一切の手段を講じなければならぬ。妥當なる手段といふのは、其の場限りのための近眼的手段ではなくて、其の場を有利に解決すると共に未來への前途を約束することの出來る手段だ。現實の生活向上といふことが、すべての行動の中心衝動になるのである。

こうした場合の勞働階級の心境を能く理解して、いかなる指導原理も、此の事實狀態に足場を置くのでなければ、それは理路整然たる一個の架空論に終つて、何等現實的効果を擧げないことになるのである。

由來、我國の指導者には、革命的形式論理のみの體得者が多く、またそうした指導者が持てはやされる傾向があつた。しかし斯くの如き指導者が「俺は正統マルキストだ、コンミニストだ」といつて、幅を利かして居る間は、我國の大衆運動は本物ではない。

たゞ革命的であり、理論的であり、辯證的であるからといつて、何等日本の無産大衆の生活事實に立脚しないモスコー直傳のテーゼを演繹したものを以て我國社會運動の指導原理としなければ承知出來ないと考へて居る間は、勞働組合も無産政黨も學生の擬國會か山王臺の院外團運動の域を脫しないといふべきである。

かたわらに聲あり「君はそんなことをいふからダラカンと云はれるのだ」と。

吾輩即ち答へて曰く「ダラカンとコンミニストと現在どちらが我國無産大衆の信任をかち得て居るか、思ひ半ばに過ぎるではないか。ダラカンはロシアには信任がないかも知れんが、日本の無産大衆の信任があれば滿足するのだ」と。

（完）

無産者の旗印（赤旗及び黑旗）の源流

一八四八年二月、佛蘭西の時の首相ギゾーの政策に激怒した民衆は、國制の改革を叫び、勞働者、學生その他老ひも若きも群を作つて、『改革せよ、ギゾーを倒せ』の聲高らかに首都の要所を練り廻はつた。激昂した民衆群に對するに、當時の常備軍は乏しかつた、又警官もとうてい群集に敵する事は出來なかつた。その機に乘じた民衆群は市街の要所々々に障柵を設け戰鬪二日間に亘り益々激烈を極め、パリーの市街は一朝にして修羅の巷と化してしまつた。その民衆を指揮したのはルイブランであつて、その時王はギゾーを罷め、改革を約したが民衆は、とうていそれに滿足しなかつた。

ルイブランは、資本と勞働の平衡を主張し、勞働者の賃銀を増額することと國家の力で彼等の地位を安固たらしめる事を要求した。それがために二月二十四日再度の官民間の激戰が行はれ、その闘ひに依つて完全に佛蘭西は民衆の手に歸した。斯くして第二共和制を布くに至つたフランス共和國を、社會民主黨は、勞働階級に國政を左右なさしめる事を望んだ。その時である、在來の佛蘭西の國旗を廢して赤旗（人類共通の血液を認識する記號）をこれに代へやうと主張した。それまで革命戰の戰場にも、勞働階級の旗として勞働軍の向ふ處に血の滴たるやうな赤旗が飜つた。赤旗が社會主義を表する勞働階級の旗として、用ひられるやうになつたのは此の時からである。又それ以來勞働運動の戰死者は、屍を赤旗で包まれることが無上の光榮とされてゐる。

世界最初の無産階級國家である勞農ロシアの、昔の宮殿、モスクワのクレムリン宮殿の屋上に專政時代の鷲の旗の代りに勞働者の血で染られた赤旗がへんぺんと飜つてゐる。又無政府主義者の旗として用ひられてゐる黑旗も同じく佛蘭西から起つたものである。黑旗は、一八三一年から三四年に亘つて佛蘭西のリヨンに絹織工の騷亂があつた。その時勞働者の飢餓と困苦を表はすものとして黑旗をその築塞上に立てた。それには『我々は困苦して生るか、戰つて死ぬかだ』と云ふ文字があつた。それ以來黑旗は無政府主義者のものとなつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共同戰線の一方向

金熙明

封建時代の產業組織より近代主義への先行者が即ち資本主義國家であり、それに遲れたるものが殖民地として資本主義國家に隷屬された。近代に於ける殖民地の發達は、政治的見地から帝國主義を確保する領土的觀念と、資本主義的經濟上の見地から搾取の對象として行はれて來たもので、殖民地は帝國主義の國家構成上から領土的必要と搾取上の利益を擁護する存在である。試みに世界に於ける無數殖民地に就て見るに、その主從的關係の狀態に多少の變異はあれ何れにしても前記二箇條の範圍を越えるものではない。即ち帝國主義が取る殖民地政策は各自の必要に任じて地理的方面に、或ひは搾取の手段として、國防の必要上から利用されるものである。

殖民地は國家的――國境的――見地から本國と何等差別の出來ない領土であり、處に依ると同一國法に支配されるものもある。しかし殖民地はその歷史的起源が武力或ひは不合法な手段に依つて從屬したもので殖民地に於ける在來の住民は支配階級とは歷史上に何等近親を持たないばかりか、親善と好意を持たない異民族の襲擊であるから、殖民地に於ける解放運動が勢ひ民族的に糾合し、民族的に解決を望むのは同類意識の喚起として止むを得ない。即ち國家的見地からの殖民地解放運動は終局に同一國法の施行差別的待遇の撤廢といふ單なる形式上の問題に止まり、殖民地自治が成立した處でそれは一種の帝國の延長であり、法規上の改正に過ぎず殖民地としての根本的搾取問題及び領土的觀念は永遠に消滅を赦されない。因みに殖民地解放運動は形式上それが民族主義運動として勃興しながらも、その根本潮流は帝國主義より避がれやうとする努力で專ら資本主義に對抗する變態的特殊運動と見ることが出來る。しからば殖民地より解放せんとする民族主義運動は帝國主義に對抗する共產社會主義への一方面で、茲に於て殖民地民族解放運動が單なる概念民族主義運動としてブルジョア階級的恐怖心を概念するプロレタリア階級があるならそれは早計である。何故なら殖民地民族運動の起因及びその動機が專ら帝國主義への對抗であれば若し民族主義としての勝利が與へられたものがあつても果して新らたなる第二の帝國を建設するであらうか。敢へて帝國主義の桎梏を再現するであらうか？若し殖民地解放運動が根本から第二の帝國を目指して出發したものであるにしてもブルジョア國家に於けるプロレタリア階級の恐怖すべき事件ではない。何故なら第二次的運動にまで行く途程は方向の相違こそあれ共に標的を帝國主義破壞にしてゐる以上當然共同戰線に起臥してゐることは勿論、第二の帝國となるべき要素である民族が概ねプロレタリアとしての階級意識に燃燒してゐることを否定することは出來ない。

思想は環境を基調として表現される。民族主義が異端者であり、帝國主義と速斷することはブルジョアジーの觀念である。殖民地解放運動としての民族運動をプロレタリア階級の戰線より驅除したものは常にブルジョア國家の概念プロレタリアートであつた。環境に符合したコースは終局に於て帝國主義對抗のレールであることを忘れて居た。殖民地より觀察すれば民族上の感情の錯綜は主國に於けるプロレタリアートを常にブルジョアと觀ることが出來るし、支配階級の同類であることを認識することが出來る。なほプロレタリアートに相違のある譯はないがブルジョア國家に於けるプロレタリアートは常に殖民地のプロレタリアートを忘れて居たことは事實である。方向は開かれたインタナショナルの基調は人類の理想である。その意味に於て殖民地民族の帝國主義よりの分離は共同戰線の基礎的完立であると云はなければならない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動講座

英國の勞働運動（一）

淺野研眞

第一節 序說

第十八世紀の產業革命以來、英國の勞働運動は、如何に發達し來つたか？

コールの云つた如く、英國に於てのみならず、第十九世紀には、殆んど總ての文明諸國に於て各種の勞働運動がその勢力を成長せしめ、發展せしめた。そして英國勞働運動史上、中心的事實として認められる三つの運動が擧げられる。

（一） 壓迫に對抗せんとする意志と、より自由で民主的な產業秩序を創造せんとする希望との間に、賃金取得の協同的連帶を表現するところの勞働組合の勃興。

（二） 高い物價と利潤を作るための產業主義とに對する勞働階級消費者の保護として及び生產の方面に於ては資本家的雇主から獨立せんとする不斷の一表現として、兩方面からの協同組合（消費組合）の勃興。

（三） 階級分割の社會を廢止して、「各人にはその必要に應じて、各人からはその能力に應じて」と云ふ原理に基づく新社會を戰ひ取ることを目標とする社會主義（思想普及運動）の發生。

而して此等の運動から、殊に勞働組合及び社會主義からして政治的權力を獲得せんとする勞働政黨が生れて來た。

右の三運動中の前二者によつて、英國は世界の先驅をなした。即ち英國の勞働組合と協同組合（消費組合）とは、歷史的には模範として目され、諸外國の勞働者が彼等の組合を組織するに當つて、大部分その形態と組織方法とを學んでゐるものである。さて勞働運動の背景としての近世社會思想は、寧ろ大革命後の佛國を中心地とした如くであるが、然し經濟思想の方面に於ては、英國が先進國であつた。即ち、『富國論』を著したアダム・スミスが、自由主義經濟學を建設して以來、久しく此の學說が發展し、實際的には、產業革命の急速なる進展を來し、世界に於ける一大資本國となつた。而して其と共に資本主義社會組織の弊害をも、いち早く現はし初めた。茲に於てか、社會思想は出現し初めた。無政府主義者なるゴドウィンや、英國社會主義の父と稱せらるゝオーウエンが出でまたリカルドォの經濟學說を社會主義化せるリカルドォ派社會主義者の一團や、勞働階級政治運動の先驅たるチャーチズムや、モーリス及びキングスレー一派の基督教社會主義者などが第十九世紀の前半に現れた。而して一八四八年に於けるチャーチスト運動の敗滅、殊に二月革命の全歐洲的失敗は、此後、約三十年間、反動時代を從へた。然るに一八八〇年代に至つて獨逸よりの亡命者カール・マルクスの影響が漸く現はれ初め、先づ社會民主同盟等が生れた。また次いで、フェビアン協會や獨立勞働黨などの運動が生れて來た。そして大戰前よりは、佛國のサンヂカリズムの影響を受けたギルド社會主義の運動が盛んに起き、大戰後はロシア革命の影響の下に、共產黨の運動が活氣を呈したと共に、勞働黨は遂に、一九二四年一月に至つて英國最初の勞働內閣を組織するにまで至つた。これ所謂「平和裡の革命」であつて、英國の勞働運動が、現に非常なる實力を有することの證明であつた。

吾々は進んで、今少しく具體的に、英國に於ける勞働運動の史的發展の跡を辿らう。

第二節 チャーチスト運動まで

一、前史（一七六〇年まで）

コールの云ふ如く、勞働運動は、今日吾々の知る如く、資本主義制度と、產業革命との產んだ子供である。產業革命（一七六〇—一八三二年）以前にも勿論、階級分割も階級反目もあつた。資本主義は十八世紀の中葉に至つて忽然として發生したものではない。從つて、尙ほ更ら、その時に初めて階級間の鬪爭が初まつた譯ではない。英國では、既

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に一三八一年に農民一揆があり中世紀を通じて全國的に『封建制度』の弊害に對する頻發的な闘爭があり、また小範圍乍らも都市の工業及び商業に關係する貧富兩階級間に闘爭があつた。ギルド制度の下に於ても、職人は時々團結して親方に反抗し、ギルド制度の晩年に於ては、貧富間に屢々階級闘爭が行はれた近世風の勞働組合すら、職業の數に於ては、產業革命を飛び越えて十八世紀の初めにまで遡及して日附さるゝ歷史を有してゐる。然し乍ら、新生產方法を採用し、商業の運用を世界大に擴大し、勞働者を工場に群がらしめ多數の人の生活標準を低下せしめ、以て雇主と勞働者とを隔てる社會的經濟的懸隔を無限に增大せしめた所の產業革命以前には、勞働運動は發達したとは云ひ得ない。勞働運動が徐々に苦勞して、勞働者を保護せんとして發達したのは、コールも云ふ如く實に第十九世紀以後のことに屬する。

二、產業革命（一七六〇—一八三二年）

所謂『產業革命』なる時期は次の諸特徵を持つ（コール）

（一）市場の大擴張と竝に此れと相對的に外國貿易の重要性が增大したこと。

（二）諸種の發明が續出して、大規模の機械生產の誘導を擴め、動力を產業に應用し、且つ水陸の運輸を容易にするための大改革が行はれたこと。

（三）共有地の大部分を私有とした結果農作の新方法、地方人口の多數の驅逐、及び其の結果としての田園より都市への移民が行はれたこと。

（四）人口の移動と新產業中心地に於ける急激なる驚くべき發展が、殊に英國の北部に於て行はれたこと。

（五）多數の手工業が、早晩、廢せられた結果として、多數の勞働者が非常に困却したこと。

（六）海外に起つた戰爭が、英國に對して比較的急速に世界市場に雄飛するの地步を確立せしむる機會を與へたこと。

（七）佛蘭西大革命と其に必然的に起つた革命的感情の餘波及び各處に漲ぎる不安とが、支配階級をして苛酷な壓制手段を用ふるに至らしめたこと。

（八）一新階級（資本家階級）が經濟的勢力へ成上つた結果、また政治的勢力の分布にも變化が生じたこと。

一七八九年のフランス大革命は全歐洲を擧げて不安の渦中に捲き込んだが、その程度は、比較的僅かであつた。多數の勞働者を有する組合が、革命主義に同感して發生し、英國の政治組織を根本的に改革せんと目ざした。かくして設立された『通信組合』の中、最も重要なものは倫敦とグラスゴーとにあつた。此等の運動や、英國に於ける革命運動の危惧を抱かしめた所の一七九〇年のパン騷動やに刺戟されて、英國の政府、特にピットの率ひた政府は鎭壓政策を採つた。暴動集會法の發布された一七九六年から一八二〇年頃までの間のものは、特に苛酷であつた。一七九九年及び一八〇〇年の組合禁止法と、一八一九年の有名な六法とは、單に民衆運動の組織的禁止と、探偵制度の正規な使用とを、規定した一般政策の一部分たるに過ぎない。一八一五年の平和に次いだ所の經濟的不景氣の時代には、多數の暴動が續發し、屢々之れに機械破壞者の運動（gnbbite）が伴つた。有名なピータールーの虐殺、及び六法は、壓制期の頂點を示してゐる。

組合禁止法の如き壓制に對して、勞働階級は之れが廢止に努力するために共同的の行動をなすには、未だ充分に有能ではなかつた爲めに、之れが撤廢運動は主として他の階級の同情者に委ねられてゐた。そして之れが攻擊は、フランシス・プレースによつて『ラディカル・テーラー』なるものが組織されて爲され、また下院に於ては、ジョセフ・ヒュームによつて爲されたこれは豫期以上の成功を收めて一八二四年には組合禁止法は完全に廢止された。然るに、ストライキと不安とが頻出した爲めに、一八二五年には前年の禁止法が可成りに緩和された方法によつて復活し、ために尙ほ勞働組合の自由は非常に大なる束縛を加へられた。然るにも拘はらず組合權は獲得され、勞働組合は發達し初めた。とは云へ、プレースや其他の當時の經濟學說に從つて、組合の賃金引上げに對する無力を指摘し、假令組合の自由が認められても、勞働組合は共濟組合的のものを除き、その影を沒する傾向を辿るべしと主張した。尙は注意すべきことは、組合禁止法の下に於てさへ、多數の組合が秘密に存在し、又は共濟組合の假裝の下にかくれて存在してゐたこと、及び此の法律に違

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

懲役にやられたり、罰金を科せられたり、拘留に處せられたりする氣づかいはない。只だ一事の注意は不納同盟を結成する爲めに、虚僞の風説を流布したり無實の申告をしたりして、刑法其他の制裁法規に引きかゝらないようにする事丈けである。然らざる限り、諸税金の滯納に對する制裁は計算上の利害問題として、納税を遲れて居るものが早く納税したよりも利益だといふ事になると、結局納税を怠る事になるから、早く納めたよりも不納して置く方が損だといふ事になれば、早く納める事になるといふ見地で規定せられて居るからである。

故に、諸税金の不納に對する法律的制裁は、其の意識的たると否とに拘らず、不納せる諸税金を強制徴收する爲に要したる手數料と、利息を取立てられるだけに止まつて夫れ以上に出でない。

諸税金を取立てる方でも、亦結局税金さへ這入ればそれでよいのだから、之を取立てる方法のみが滯納者に對する制裁として規定せられて居るのであらう。

其處で各種諸税金の不納に對する手數料や滯納利息やを加算した強制徴收の方法如何を附言するに、その税金の種類に依つて異つて居る。例へば、地租、所得税、營業税、工業税、取引所營業税、戶數割、家屋税、雜種税、國税、其他の本税に對する附課税といふ種類に依つて異るのであるが、その中で一番重い制裁を規定して居るのは、直接國税の徴收法であるが、試みにその第三章、滯納處分に關する規定を擧げると、税官吏は滯納者の財産を差押へる事が出來るといふ事になつて居て、その差押をする範圍は本税金と督促手數料、滯納處分費等である。が夫れでも、第十六條には、

左ニ掲クル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

一、滯納者及其ノ同居ノ家族ノ生活上缺クヘカラサル衣服、寢具、家具及厨具。

二、滯納者及其ノ同居家族ニ必要ナル一ヶ月間ノ食料及薪炭。

三、實印其ノ他職業ニ必要ナル印。

四、祭祀禮拜ニ必要ナリト認ムル物及石碑墓地。

五、系譜其ノ他滯納者ノ家ニ必要ナル日記書付類。

六、職業上必要ナル制服、祭服、法衣。

七、勳章其ノ他名譽ノ章票。

八、滯納者及其ノ同居家族ノ修學上必要ナル書籍器具。

九、發明又ハ著作ニ係ル物ニシテ未ダ公ニセサルモノ。

第十七條には、

左ニ掲クル物件ハ他ニ督促手數料、延滯金滯納處分費及税金ヲ償フニ足ルヘキ物件ヲ提供スル時ハ滯納者ノ選擇ニ依リ差押ヲ爲ササルモノトス。

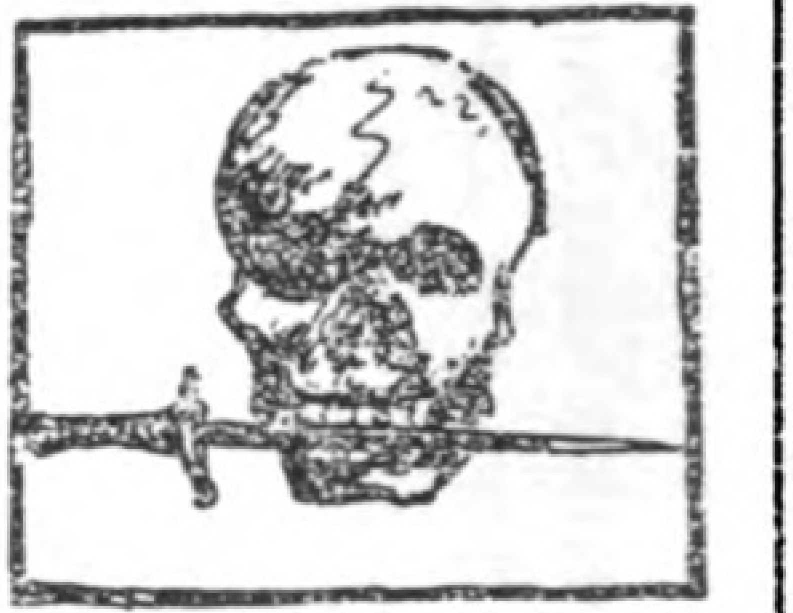
一、農業ニ必要ナル器具、種子、肥料及牛馬並ニ其ノ飼料。

二、職業ニ必要ナル器具及材料。

といふ規定があるので前記の物件は差押へない。

之を、要するに、財産上の問題は、假令、國家の強權を以つて徴收する國税でも結局無いものは取れない。あつても生命を直接に破壞する如ふな取り立て方が制限せらるゝ事に爲つて居るのである。故に、問題の係る所は、あるものが納めないでそのあるものを差押へられた場合に封印破毀、其他の犯罪に引かゝる虞のある事が、不納同盟の法律的制裁に關する注意點であらう。が、而し乍ら、夫れも前にも云ふた通り一人一人の不納者に就いての制裁が左樣だと云ふだけで、一市、一町、一村の者が、擧つて、反對して不納した場合に、一市、一町、一村の總てが、尠くとも大勢の者を片端から強制徴收の差押を斷行する譯にも行くまいし、惡税に反對する一國の納税者が、廢止運動の戰術として一整、若しくは大多數が不納した場合にも、之を、片端から差押へる譯にも行くまい。其處に法律は多數者のものとしての本質的な職能の限界をなす所に無産階級解放戰術としての、諸税金不納同盟と云ふ事を法律的に考察せらるゝ主意があると思ふが、其處迄は言及しないで一先づ擱筆する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



失業問題の解決か資本主義の解決か

山川亮

（一）

失業の叫びは全國の勞働階級を脅威してゐる。何處かの一工場で爭議が一度起る每に、少くも十人位から多くは何百人否何千人もの失業者を街路に投げ出す。そして一度失業した以上は、容易なことでは再び職にはありつけない。それが爭議團の中でも目星しい人間であつたら、永久的に失業させられるものと覺悟しなければならぬ。

この種の失業者數は今日では全國に涉つて百萬に近いと云はれてゐる。政府の調査發表に因ると十萬六千とかの數しか示してゐないが、この十萬六千の數字は現在餓死に近いやうな種類の失業者數で、如之その家族は算入してゐないから、その嚴密な意味での失業者數とその家族の數を入れると百萬を超加して來る。この他に智識階級からの失業者數を入れると、その總數は驚く可き莫大な數となるであらう。

これに對して政府當局が講じてゐる對策は何かと云ふと、要するに職業紹介所と無料宿泊所の設置と云ふことなのだが、殆んどその効果は上つては居らない。現に職業紹介所では、その經費の不充分な爲めに理想はありながら、その百分の一も實現は出來ないと云つてゐるさうである。そして傳聞した所に依ると失業勞働者が自發的に示威運動で政府を鞭達して吳れゝば、當局も覺醒して經費も充分に出し、吾々にも働らき甲斐のあるやうになるのだがとさへも、不平をこぼしてゐるとか聞く。

職業紹介所や無料宿泊所や（その實は有料の）實費診察所や、要するに之等は資本階級が自己階級の有利の爲めに、勞働階級に對して一寸した甘味をつけただけの話で、これらの社會政策に依つて救はれるのは、失業勞働者の極めて一部分に過ぎない。それは丁度資本家が自分達の工場で働かせる爲めには、無學では都合の惡るい所から勞働階級の子供に智識をつける爲めに、義務年限の敎育期間授業料を徵收しないのと、同じからくりの方法である。

問題は玆にはない。失業者を何うして死なぬ樣にしやうかと云ふのではなくして、何うしてこの社會から失業者の姿を絕つ樣にしやうかと云ふのでなくてはならない筈なのだ。

（二）

それには何故失業者が出るかと云ふことを考へて見よ。世間が不景氣だからだと云ふ。何故世間が不景氣だと失業者が出るのか。

世間が不景氣だから工場には多くの仕事が無い、多く仕事が無いのに、高い賃金を支拂つて勞働者を雇つて置く必要がない、それでは商賣にならないと資本家は異口同音にかう答へる。だから始めは勞賃の低下を考へる。そこで爭議が起る。すると資本家側は工場閉鎖をやつたり職工の馘首をどし〳〵やる。昨日までの工場勞働者は今日は街頭を彷徨する失業者となる。否爭議などが起きなくても、資本家にして金儲けにならないと思へば、すぐその日にでも解雇する。その有樣は昔の武士の切棄御免と同樣である。

この切棄御免の原因となる不景氣即ち恐慌は、資本主義經濟組織の下では、止むを得ない現象で平均十年乃至廿年に一回は社會を襲つて來る。即ち資本家の生產過剩からして、必然的に丁度感冒に罹れば發熱する樣に資本主義と恐慌とは切つても切れぬ關係にある。この恐慌に襲はれると資本家は、折角十年間も懸つて溜めた金を一度に吐き出さなければならぬから、勢ひその責任を勞働階級に轉嫁して自己の損失――だが然し有態に云へば勞働者から搾取して溜めた金を吐き出すまいとして、勞働階級から失業者を續出させるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くして百萬の人間が失業して飢餓に脅かされてゐる。

（三）

成程、失業にも種々の理由があつて、原因も亦幾つか存在する。即ち器械の發明に因つて、多くの人力を要せなくなつたから起つた失業（例を引けば人力に因る運搬が器械の發明に因つて、人間を多く必要としなくなつた）もあれば、季節に因る失業（養蠶などはその一例）などもあるにはあるけれど、今日の失業者の大多數は、資本家の勝手氣儘な生産過剰に原因する不景氣の犠牲として、失業せしめられた勞働者である。

この事を少し具體的に説明すると、元來資本家が管理權を持つ所の商品は、如何なる性質を持つてゐるものであらうか。その商品の解剖を試みることに依つて、資本家が如何にして勞働者を搾取し、また不景氣に際しては何故、失業者を出さねばならぬかを明かにしやう。

一資本家が十圓の金で或商品を購ひ、それを原料として一日二圓の勞賃で勞働者を雇ひ入れて、ある器械を使用して一日に一箇の商品を造り上げたとする而してその器械の一日の使用に對する損失が一圓であつたと假定すると、この資本家が造り上げた商品は十三圓の價値が相當である。然し十三圓を消費して十三圓に賣つたのでは、資本家の手には一文も殘らない所から彼は何とかして十三圓の商品から十三圓以上の金を手に入れなければならぬ。然し原料の十圓は如何にそれをヒネリ廻しても十圓であり、器械に對する損失の一圓は、これ亦如何にしても一圓以下にはなり得ない。そこでこの資本家の着眼する所は勞働者である。即ち勞賃をごまかすか、勞働時間をごまかすかより他には、十三圓の資本で十三圓以上を產み出す手段がない。即ちこの資本家は、勞働者に二圓の勞賃を與へて――この二圓の勞賃は勞働者の一日の生活資料を得るに要する六時間の勞働時間に對して支拂はれたものである――この二圓の金額に相當する六時間よりも、より以上の時間を働かして、即ち倍の時間十二時間を働かして、この勞働者から六時間分の賃金を資本家は自己の懐に入れる。そこで十三圓を支拂つた品物に對して十三圓に二圓を加えた十五圓として、これを相手に賣る。

斯くして十三圓から十五圓を產む魔術が續く限り、資本家は二圓の賃金で勞働者を雇つて置く。然し十三圓から十三圓しか產まないならば、玆に資本家は破滅に陥らなければならぬ。即ち生產額を縮少して、同時に勞働者に對する支拂ひ額を減じなければならぬ。それでなければ十三圓から十五圓を產む魔術は續けられない。

不景氣に際して爭議が起り、失業者が續出するのは、この資本主義の魔術を續けんとする、資本家の努力の結果である。

然かもこの產業豫備軍は、資本主義經濟組織にとつては、恐る可き敵である。その增加は刻々に資本主義を斷頭台に引擦つて行く。然かもそれを充分に知りながら、この產業豫備軍を出さなければ、資本主義はまた行詰りを生じて破綻する。何れにしても失業問題の解決は資本主義の解決そのものでなければならぬ。（完）

勞働婦人は無產階級運動の鍵を握るもの

吉田はつ

[illegible]

即ち、「日本の解放戰が遲々として而かも大なる犠牲な拂つてゐながら進展しないのは、無產階級陣營内の最も必須な要

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作法と未組織農民

神庭仲之介

一

大正九年以來地主階級に反駁され或ひは歴代內閣の短命怠慢なりし爲めに有耶無耶に葬り去つてゐた小作立法制定の勇氣を若槻內閣が復活して來議會に提案せしめるべく目下小作調査委員會に於て審議せしめてゐる事は、よし其れが普選を前に控へた好餌政策に過ぎないにせよ、兎に角現時の農村不安が一として所有權の偏重なるに基づかざる無しと云ふ事を自己階級の階級的利害を傷けてまでも認めねばならぬ事を或る程度迄悟つたのは確に一歩進んだと云はねばなるまい。と云ふ事は、過日大阪に開かれた日本農民組合主唱の「全國農業團體小作立法對策協議會」の席上で「現政府の案は吾等の理想に近い」と右傾派と云へども無產派の論客である中部農民の中澤氏が云ひ出した程今回農林省が小作調査委員會に示した參考案はブルヂョアの作製としては可成進步的なものである事は吾人も或る程度までは容認する。しかし、過去に於ける事實に徵してもブルヂョア政府の無產階級の地位向上に關する政策が議會樞密院等々—によつて改惡される事はあつても原案のまゝで（この原案も不完全なものに過ぎぬ）通過する事は無いのである。亦政府自身にしてもブルヂョアである。民衆への單なる申譯に程度を高めたものであるから其の原案のくづれるのを內心喜んでゐるのであらう。されば今次の小作法案も漸次骨拔きされて行くのは當然であつて前揭の協議會が批判的反對の態度を採ると決定したのは正當の事と信ずる。此處に云ふ反對は絕對的否認の意味では無い。小作法の不完全化に反對する事を意味する

二

町田農相が最近小作法は小作不安を絕滅するものでは無いと聲明したのは正論である。何故と云ふに現時の農村不安は小作制度の上に咲いた弊害であつて小作制度を廢止せねば消滅しない性質のものだからである而して小作法は小作制度を廢止するものではないからである。

小作法の目的は、所有權に對抗する强度の耕作權を確立する事にあつて、私有財產制の下に從來よりやゝ安心して耕作を續ける事が出來る程度のもので、搾取制度は依然として存續するのだ。されば此の法によつて農民解放の戰線が鎭靜に歸する程全土の農民團體は思想的に無自覺の域を彷徨してはゐないのである。たゞ小作法の制定意義を歷史的段階の、產物として容認するのである。しかし、進步的なる農民團體たるもの單に此の機會に消極的態度を持してゐてはならぬのである。

全國農民團體協議會が小作立

業であつて 而かも强大なる力を有する勞働婦人が、これに加つてゐないからである」と云ひ得ると思ひます。

抑も無產階級が、現在のブルジョアー社會の虐げから解放される事を鬪爭によつて完成しようとするのは、無產階級が數に於いて社會の殆んど全部であり、其の力に於いて常に社會を支持して居るものであるからでありませう。而かも數に於いて、其の力に於いて社會を支持する無產大衆の、其の力と恃み其の數を誇る最も重要な役割を分擔するところのものは、私達勞働婦人であります。

今試みに日本の資本主義文化を支持するところの勞働に就いて數字的に見ても勞働婦人の力の强大さが察知されます。日本の資本主義文化の根幹を爲して居る主要な工業は何と言つても纖維工業であるでせう、ところで勞働婦人である私達女工の數は工場勞働者の總數に對して非常なる高率な數に上つて居りまして、此の工場勞働者の總數に對して高率を示して居る私達勞働婦人は、其の殆んどが日本の主要工業の勞働に從事して居るのでありまして、日本資本主義文化の根幹は實に私達勞働婦人である女工の力であります。

ブルジョアー役人の調製した統計に依りましても、日本の工場勞働者の總數は、改正工場法以前の適用工場の勞働者のみで、約百五十萬人で、女工は其の約六割に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法の完全化に向つて策動すると云ふ事は、歴史的社會段階に於て積極的に運動すべき新天地ある事を裏書するものだ。

三

現に農民組合の發達してゐる地方に於ては、其の團結の力によつて大なる事實的權利と利益を掌中に收めてゐる事は明かである。末弘博士が或る著書で農民組合は小作立法以上の力を把握してゐると云つてをられた樣であつたが、實際に於て農民組合の發達してゐる地方に對しては小作法は事實的權利を合法的に確立するだけである。と云つて吾人は組合の繁盛した地に於ける小作法を輕視する譯でもなんでもない。小作法が完全化すればするだけ組合の意氣盛んなるは疑ひない。小作法が不完全なれば組合力の事實的水準點以下にしか効果を發揮せぬであらう。

四

農民運動は近時燎原の火と擴大したと云ふけれども全國農民の總數に比例すれば未だ遠しと云はねばならない。吾人が本論に於いて此の未組織農民に小作法が如何なるセンセーションを惹起するかを探究したいと思ふ。

ブルジョア社會に於ては道德すらブルジョア本位になつて行く事は豫定のプログラムである。組織無き農業地帶に於いては地主の苛斂誅求にも闘らずすべて彼等本位に出來てゐるから、農民が團結して地主に對抗する事を反道德的に考へてゐる。それに地主も極力かゝる事實を反道德だと喧傳するから無智なる農民は其の言を信賴して了ふのである。

五

かくの如き階級的道德觀念にとらはれて地主に盲從してゐた未組織農民の上に投げかける小作法の波紋は必ずや、其の農民狀態が悲慘なるだけ一大動搖を惹起させるであらう。それには先進組合の宣傳にまつ事は此處に揚言するまでもない。

小作法は其の形態が完全なればなるだけ、未組織農民に長日月培はれてゐた道德觀念に動搖を招致すると云ふのは、從來危險思想だと敎へられ、自己亦其の言を信じてゐた組合運動が法律上承認されるからである。

危險思想は開夜の枯尾花に過ぎぬ事を悟るのだ。解放戰に於ける桎梏であつた未組織農民の傳統的觀念は新らしき觀念へと飛躍して行くのである。この農民の一大動搖を利用して一躍組合運動に導いて行く事は全く先進組合の双肩にかゝつてゐるのである。

六

小作立法によつて農民の權利が確立され組合運動の正當さが立證されゝば怯懦の爲めに眠つてゐた人も競つて解放戰線に參加するに至るであらう。亦、農民も、先進鬪士と倶に安心してこれまた戰線の大衆と化するであらう。

この事は小作立法が無產階級的に完成すればするだけ其の可能性を强め〇〇〇〇への段階を固める。されば吾々は小作立法の完全化に極力努力しなければならぬ。而して、未組織農民を解放線上の人たらしめるは先[illegible]組合の重い責任である。

相當する九十萬人と云ふ大多數を占めて居ります。此の九十萬人の中で約八十萬人が染織工場に勞働して居りますのでそれに染織勞働には別に男工が約二十萬人加つて、染織勞働には結局約百萬人の勞働者が勞働して居るのであつて、日本の主要工業に與つて居る譯であります。それで染織勞働者は全工場勞働者の總數の實に三分の二を占めて居ります、日本の主要工業が「女性工業」と稱せられるのも此の邊の事情から出發して居るのでせう。

如斯與へられた眼前の一、二の事實だけでも私達無產婦人が、無產階級陣營內に於ける力が分つて居ります。故に日本無產階級運動も、其の鍵を握つて居るものは、私達勞働婦人であらうと思ひます、勞働婦人が階級戰に參加する事を他にしては、階級運動は進展しないと思ひます。

然るにこれ程重要な役割にある勞働婦人が、常に日本の大衆運動から忘れられて居たのは恐らく彼の、『婦人は隷屬す可きもの』と云ふ、封建的、因襲的、非人格的な思想が禍してゐる爲めでありませう。

私は此の隷屬性に就いては機會を見て又貴重な誌面の割愛を乞ふ事とし、今は只無產階級運動は勞働婦人を擁して、勞働婦人も戰士であり、戰友として鬪爭するにあらざれば決して無產階級の解放は伸展し、又成功するものではないと云ふ事を高調し、勞働婦人は自からの力を知り、階級戰に於ける私達勞働婦人の役割が演ず可く、此の重要な任務を果す爲めには、あらゆる努力を盡されねばならぬと云ふ事を力說して筆を擱く事に致します。

（八月十五日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆の進路

工藤勝市

凡そ國家經營の目的は社會の進歩と人類の福利增進である。然して社會の進歩は科學によつてのみなされる。人類の福利は文明的道德によつてのみ得られる。其理想は自由と正義にある。然るに現資本主義社會に於て眞の國家の目的が行はれて居るだらうか？ 其理想は如何？ 社會の進歩は其福利增進は暗黑への不幸の進歩であり、自由拘束と不正義への努力である。道德は狂熱の不道義にして、自由は壓制なり。正義は邪曲にして敎育は敎育にあらずして無智への陶醉手段である。

資本主義社會の進歩は腐敗にして、福利は災禍である。此腐敗にして災禍である社會に於て吾々無產大衆は何を求め、何處へ進むべきか？

今や資本主義は崩壞期に達しつゝある。此時にあたつて我々無產大衆は拘束から自由へ不正義から正義へ、不道義から道德へ走らねばならぬ。無智な陶醉から自覺して人類の最大理想たる○○○○○○○○○の道を急がねばならぬ。凡そあらゆる生物は其環境の如何によつて支配される。資本主義社會に於て一日の食も碌々有りつけない子供と、美味な食を飽き足る程食つて居る子供とは其處に思想や健康上憂ふべきもののあるは怪しむに足らぬ事である。それと同義にあらゆる迫害に壓制に暴虐を加へられ、其上膏血を○○され、總ての自由を○○された我等無產大衆は此ブルジョアデモクラシー(資本主義)の未期に於て當○○○○○○○○○○○○○○○。○○。マルクスは云ふ「思想が生活を決定するにあらずして生活が思想を決定するる」と。現資本主義社會に於ける民衆の生活は必然的に社會主義を求めるのである。

過去に於ての長い歷史はよく吾々に未來の進行を明らかに表示して居る。過去の歷史はすべて經濟關係の絕へざる動きである。

資本主義社會に於ける歷史學はたゞ通過せる諸々の出來事の一系列に過ぎない。最早吾々は過去に於ての偉人の傳記や、宗敎の進行狀態の硏究は必要でなくなつた。もつともつと吾々は大切な歷史を學ばねばならぬ。即ち經濟狀態に於ける社會の進行に就いて其歷史を學ばねばならぬ。

吾々人間は古今通じて生きんとする不絕の物質的慾望がある。其物質的慾望は常に間斷なく人間の勞働に於ける生產力を增進せしめる、勞働によつての生產力の增進は人を新たなる勞働手段や生產方法とに導いて其れに依つて全生產方法を常に變革する。之れが爲め社會狀態が變革される。此間に於て經濟的に利害が相反する集團が生れる其の分離によつて階級が生れる其一方は經濟的に支配し、○○し、壓迫するものと一方は其に支配され、○○され、○○され壓迫されるものである。前者は權利を專有し、土地、資本と云ふ所謂生產機關を所有する。後者は何も所有しない。たゞ勞働力と云ふ搾取者に賣る所の商品を持つて居るに過ぎない。斯くの如くにして利害相反する階級は對立する。自由民と奴隸、貴族と平民、領主と農奴、近代のブルジョアとプロレタリヤと云ふ風に對立する。此對立によつて階級鬪爭が生ずる。此階級鬪爭即ち社會的變革は政治上の出來事や、戰爭や、立法や、條約をなす機緣となる地盤を作るのである。此と同時に人間の思想も常に進歩して來る。

吾々は孤立的分散的な賃銀鬪爭から團體的に他の階級資本階級と鬪爭せねばならぬ我等無產大衆は我等自身の團結力を以つて○○を○○しプロレタリアの社會を建設するのである此社會が「各人の才能に從つて働き必要に從つて分配を受ける」事の出來るコンミユニストの理想的社會である。(完)

社會運動の根本觀念

——最近の『日本社會運動』を駁す——

澤井龍之助

一

日本に社會運動が勃興しだしてから凡そ四十年になるであらう。明治時代の終末に於てはかの有名なる幸德事件があり、其後暫らくは其の影を潜めたが、それより大正七年、天下の耳目を聳だゝしめた米騷動は潜かに其の機を覗つてゐた社會運動をば復活せしめた。而して此の年露西亞に於ては前古未曾有の無產階級革命が遂行され、ツアーの專制政府は其の根幹を覆がへされ、史上空前の無產階級國家が樹立されたのである。かくして、これに刺戟された歐羅巴諸國は共產主義の怪物に惱まされ、次で獨逸に於ても歐洲大戰後に無產階級革命が勃發した。併しそれは或る一部、變節漢等の爲に畸型兒的な革命をなさしめたに過ぎなかつた。开は多くのプロレタリアの生命をばブルジョアジーに捧げたものであつた。そして彼等は國を助ける變りに己れの地位を助けた。彼等は獨逸無產階級をば完全に蹂躪したのである。然し乍ら露西亞の無產階級國家は全世界の無產階級に對して多大の感動を齎らしめた。日本に於ても米騷動と露西亞大革命に刺戟されて、忘れかけようとしてゐた社會運動を急激に發展せしめた。其の後に於て神戸には日本未曾有の大勞働爭議を起し、漸次、階級鬪爭意識は濃厚になり始めた。开は大正十年八月と記憶する。これより各地に勞働爭議が勃發し始め、其の當時唯一の勞働團體であつた友愛會は日本勞働總同盟と改稱し、現在の如き尨大なる勞働團體を築くに到つたものである。

斯樣にして、日本の勞働運動は異常なる發展を遂げた。思想界に於ては神戸の勞働爭議以後、露西亞の無產階級國家の樹立と共に、アナキスチックな思想は漸次、稀薄になり、サンヂカリズムを奉じてゐた人々も其の面容を塗更て〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。そして猫も杓子も露西亞輸入のボルセキズムに走り込んだ。

ボルセキズムは日本の勞働運動及び社會運動界に瀰漫した。赤旗は白晝、翩飜と白日に飜がへつた。まことに日本は丸でボルセキズム國家になつた樣な感じもせぬではなかつた。そして大正十二年の大震災は來た。これで日本の勞働運動及社會運動は又元の昔に返りかけ樣としてゐる否、そうではない、が併し、今や反動思想は到る所に鼓吹され、そして勞働團體の人々の口には『日本主義』に返れとの叫び聲が聞へる。彼等の『日本主義』とは何んであるか。今の今まで、露西亞々々と叫ばれてゐた聲は急にバタリと止んで『日本』に眼覺め始めた。『日本』とは何んであるか？ 吾等はこれについていさゝか解剖のメスを揮ふであらう。

二

最近、ボルセキズム流行？の後を受けて、勞働團體及一部思想界の人々に『日本主義』及『日本に歸れ』の聲を聞く樣になつた。それは前にも述べた如く大正十二年の大震火災を轉機として、叫ばれ始めたのである此の思想は一言すればボルセキズムの如く露西亞流の社會運動より日本の現實、社會狀態、國情に適した所の社會運動及勞働運動をしなければならぬと云ふのが眼目らしいのである。そして今まではアマリに露西亞を擔ぎ過ぎた。否アマリに露西亞に眩惑し過ぎたのである。だからこれからの社會運動、勞働運動なるものは『大地に足を踩みつけた』所のものでなくてはならぬ。今までのはアマリに『小兒病的』行動に自慰し過ぎてゐた。『觀念的』『非現實的』な運動に溺れ込んでゐたのである。モット『現實』に足を踏まなければならぬ。そして日本を見ろ！ 日本の現實を社會狀態を國情を！ 又、或る一部の思想家達の間

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

には『日本に歸れ！』の聲がかまびすしくなつて來た。彼等の空說に從へば從來までの吾が思想界はアマリにも西洋學問に中毒し過ぎて來た。西洋學問に對して咀嚼解剖もせずに只々鵜飲みの儘、直輸入し、そして只だそれに醉ふばかりであつた。だから吾々日本人はモットモット『日本』を研究せなければならぬ。西洋より東洋への復歸！

そして『日本に歸れ！』

吾々は勿論日本人である。が併し、それだと云つて西洋の學問を研究し、崇拜しては惡いと云ふ事になりはしないっ古るい言草だが、外國のいゝ所はとり、惡るい所は捨てゝいゝまでである。成程、東洋の學問は哲學、宗教、藝術の方面に於ては外國のそれに對して毫も遜色を取らないばかりかそれにも增して優れてゐる所は幾らでもある。西洋の哲學に於ては終始一貫論理的科學的であるが、東洋のそれは終始一貫、冥想的神秘的色彩に富んでゐる。神秘的だからと云つて非科學的と云ふ事ではない。直觀の方法に據つて論理的科學的眞理の探究方法よりも豁然と大悟する場合があるからである。だからどちらかを持上げる必要がないと共に又くさす必要もない譯である

三

それの如く吾等無產階級運動をやるものに取つても右の論理は當嵌る。吾等の運動はその根本意識に於て人類愛に基づいてゐるのである。そして此の意識は必然に吾々の社會を凝視せしめる。吾々の目前には現實社會がある。國家がある。人間同志の社會生活がある。其處には文明の假裝を覆つた醜穢な同胞の爭鬪があるではないか。一つの少數階級が他の多數階級に對して常に殘忍な搾取の暴威を揮つてゐる。是が吾々の要求する人間生活の姿であるだらうか。吾々の望む人間生活とはそんなものではない。モット美しい、人間愛に滿ちた生活でなければならない。社會運動と云ひ總ゆる文化運動は皆吾々の社會生活をモット美しくする運動に外ならないのである。こゝに何の國境がある。日本人は日本人だけ愛し合はなければならぬと云ふ理由はない。お互ひ人類の幸福を目指して戰つてゐる運動ではないか。それに對して、[illegible]

外國なんか何うだ[illegible]つていゝぢやあないか。ナンテ云ふ奴は今からサッサと社會運動なんか止して了へ。[illegible]

> **農民歌募集**
>
> 島根縣小作組合聯合會の會歌を募集す。戰鬪氣分の橫溢せるものを望む。選定したものには薄謝を呈す。
> 〆切は十月二十日限り。
> 本社宛郵送を乞ふ。

[illegible]。又露西亞を崇拜する必要もない。それだと云つて〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。[illegible]

社會運動は人類共有共榮の大理想を以つて其の指標とする。故に他國排斥及無關心は絕對に許されない。

現實もいゝ。が然し、モット胸膽を廣く持て！吾々の眼指す理想社會は只だ日本だけの〇、〇で事が濟むのではない。吾々は不斷に人類更生の信念を把持して居なければならないのである。是を要するに社會運動と云ふが如きものは一國境的運動ではない事である。マルクスの言はコンナ時に當嵌る『萬國の勞働者團結せよ！』

吾々は右のスローガンを不斷に口ずさむ必要がある。（終）

全土戰報

不道德なる醫師

東京府下世田ヶ谷の久保七藏(三九)の長女きよ(九つ)が去月末突然發病假死狀態に陷つたので附近の中澤醫師に驅け付け來診を求めたが留守居を使はれ、次で倉田、金子、林、龍、高橋、中村、鈴木の七醫師を順に廻つたが皆な相手にされず、つまり貧なるが故に誰も來診して吳れぬ、そして其子は可愛そうにコロッと死んでしまつた。醫師法には患者の乞診を拒否する事は出來ぬのに、この八醫師は……こんな輩が居るから善良な仁術の人達までが「醫師が惡い」と云はれるのだ云々。

此の記事は去る八月八日の神戶又新日報の三面の一隅から見い出したものである。吾等無產階級の如何に悲慘な狀態であるかは、日日の新聞紙に報道せられざるもの、如何に多きかを知る。

この悲慘極まる記事を見るときに於て、如何に現代資本主義の謳歌者と雖も、尠なくとも人間の血を持つ者であるなれば、只新聞の三面の一記事として一笑に附してしまふ事は出來ぬであらう。

それは現代資本主義社會のドン底に流れる一大階級、無產階級に對する彼等ブルジョアー階級の階級的殺人の一場面であることを意識することが出來る。資本主義○○が我等無產階級に對して、限りなき暴壓と○○を以つて、戰はんとする社會的意識が彼等畜類の如き醫師によつて、まざ〳〵と見せつけられたのである。

夜中に急に重患に陷つた親は無我無中になり、醫師の宅を訪問し、可愛い我子の病狀を述べて來診を願つたのである。然るに醫師は其の患家が貧苦である事を知つてか、知らずか在宅にも拘らず、診察を拒絕してしまつたのである。故に止むなく他の醫師を求めて行つたのである、ところがその醫師も前の醫師と同樣に拒絕したのである。

我子の病狀の危急の場合二人の醫師にキッパリと診察を拒絕された親は失神狀態で次から次へと八名の醫師の來訪を求めて廻つたのであつたが何故か一人の醫師も來診に應じてはくれなかつたのである。

然して遂に臨終に至る迄「貧乏のおかげ」で醫師の診察はもとより一服の藥を與へることも出來得なかつたのである。貧乏なるが故に彼等八人の不道德なる醫師の爲に見殺しにしたと云ふことは、換言するなれば不合理極まる現代資本主義の君臨することに依つて生じる階級的公認殺人である。

けれ共も資本家階級の奴又はブルジョアー學者は此の時こそと言ふであらう――故に日頃から一生懸命に働いて、まさかの時に備へよ勤儉週間の大宣傳もこの爲めなり――と吾人は言ふ資本主義の搾取社會にある我等に彼等の云うまさかの時とは如何なる時を云ふのであらうか。今日は實にまさかの時であり、まさかの時たる明日を迎へて居るのではないか。一片のパンが得ることに於いても、まさかの時の感に怖やかされて居るのである。まさかの時に備へよとは我等は日本無產大衆の○○○○○○○○○○○○○○のみである。

然してブルジョアー階級の家庭より彼等醫師の來診を求めたりとすれば、彼等は如何に深夜の夢が破らるゝとも病家の與ふる謝禮の幾何を考へる事に於いてさへも診察を拒否せざるであらう。

所が一面に於ては羅綾錦衣高樓の雅宴において一夕數千金を投ずる者のあることである。

大倉喜八郞は九十歲の老體をもつて家の子郞黨を引連て、アルプス登山の大名行列を行つたと麗々しく書かれてあつた。

九十歲の老體を以つて尙若者を凌ぐの意氣ありとかいふ記事を見たが老體は轎の中に若者を凌ぐ意氣悠然と治まつて登山したのである。或る人評して云う、小判に足が生へて登山した、と又た曰く、俺なれば百三十歲になつても大倉式登山法なら印度のヒマラヤ山の登山位ひは辭さないと。この不合理、この矛盾、この貧乏の虛僞を見る時、實に我々無產階級が夜に晝に續く勞働の成果、汗と膏の結晶を○○したことに外ならないのである。

彼等醫師が最高の學府を出で仁術を開業し得たるは、實に我等階級の汗と膏を○○した汁によつて得たに拘らず、治療費に窮したる無產階級の一少女を故殺したのである。實に現代搾取社會にありては、我等は彼等に對して生命の奪取權をも與へたのであつた。アナトールフランスの言葉に、「私は富者の貧者に對する憐憫を人類に對する不正の一と見做

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す」と資本家が貧しい人間に憐れみを施すことが、人類に對する不正の一つであれば、勞働することによつて尙食ひ得ない勞働者が、我等を搾取し奪取することによつて徒食しつゝある資本家を養ふと云ふことは、人類に對する大なる不正である。不正をなす不道德家である。我等は唯一の力を信ずるものであらねばならぬ。唯一の力は無產者大衆の團結による〇〇と〇〇〇を主張せねばならぬ。（神戸　岩非劍）

見ろ!!!此の窮狀を

吾が茨城縣では前知事大田大三郞君が就任以來、政府の意とあつて銀行の合併を計畫し、小銀行は何れも五十、常盤の二大銀行に合併せしめ、もし聞かれば殆んど高壓手段をとり理非を問はず政府てふ名の下に壓迫し、遂に昨年十二月頃までに殆んど合併せしめ殘るは二三を數ふるのみとなつたが、殘れる二三の小銀行も近々中に五十に合併する筈である。尤も土浦町に本店を有する五十銀行は現政府黨たる憲政會總務原修治郞を始め何れも政府黨の連中である。が兎に角昨年以來政府てふ力によつて小銀行を何れも買しめて終つた。政府の意見としては小銀行を置く事は預金者に取つて不安であると云ふのであるが、だが然し吾々プロに取つては否一般人に取つて此の合併でどの位都合が惡くなつたか知れやしないのだ。何故なれば從來は農村の人達が肥料を購入する場合にも五十圓や百圓の金は只だ一枚の證文を入れゝば借り得る事が出來た、處が、常盤五十と云ふ二大銀行に合併して以來は百圓が一圓の金でも信用貸しはやらなくなつたので、第四階級即ち無資產の者は親が大病でも銀行からは一文の金も自由に借入れる事は出來なくなつて了つたのである。私は思ふ。現内閣は組織當初に於て國利民福、農村振興と云ふ政策を表看板にブラ下げて出たのだが、現在のやり方は農村不振、國民貧乏と看板を塗りかへた。尤も今初つた譯ではなく我國の政治は高位とか高官とか云ふ奴等が手に握つてブルヂョアーに都合がよく出來上つて居る。プロには何時でも都合が惡いのだ。之れは一寸橫道にそれ込んだが小銀行がなくなつた爲縣下に於ける農村は金融機關が止まつたのでプロ階級は肥料代にも窮し、破產の止むなきに至れる者が續出してきた。殊に本年は近年になき大旱害の爲め、此秋には如何にして食米を購入すべきかと何れも惱まされてゐる。橫暴飽くなき資本家逹は何れも小作料取立には容赦なく目下麥、小麥を盛んに取立てゝゐるが彼等は此旱害を知らざるもの〻如く、水田はどうでも陸稻は豐作だからなどゝうそぶき慘狀極まりなき農村を他所に、海水浴などに浮身をやつして居るのだ。滿天下の諸君よ、我々も人間である。我々は起つて正義人道を叫ばねばならぬ。彼奴等に屈してはならぬ。我々は飽くまで自由と平等を要求して、正義を叫ばふ。（茨城　川田紅葉）

越中を中心として

田舍は平和、生存競爭は別問題の事。虐げられた福野町濵花館の藝妓三人は生活に反逆してなまぬるい古池の中へ飛込んで自殺した。二十一が年長で、十六が一番若いのだと云ふ。プロレタリアの娘の可愛想な運命よ。

富山紡績、福岡工場では一千人の娘たちが徹夜業を强ひられてゐる、解り切つたことながら金のため。賃銀鐵鎖につながれた無產青年たちの未來の妻たち――。

庄川水力工事では、百姓人夫逹が、朝鮮人人夫諸君と反目しながら賃銀を拾ひ集めることにつとめてゐる。彼等曰く働くことだ。働くことだ。働きさえすれやあ金が儲かる。

彼等とは百姓人夫――

爲政者たちは大衆にこびた、そして個人的社會思想所有者を餓死の途へ平氣で追ひ込む。不良の民にあの通りだと、公然蔭口をきいてゐる、やけた井波町はどんどん復興して行く。お上が金を集めて來て吳れるのもある。またいろんな僞善團體のそれもある。町も個人も家を建てる、道を修理する。昔よりはよくなつたと地方民逹ちは現制度に滿す感謝の聲。

大正九年の農民問題の兩礪波米穀生產者同盟會はその將來を期待してゐたにも拘らず、つまらない地方有志の賣名機關にしかならなかつた。結果から見て。

一寸聞いた話だがばけ物の樣な小作團體が富山縣には八十あまりあると云ふ話。白晝公然と何にしてゐるか。腰抜け團體とある人が云ふ。

思想青年と云へば宗教と政治の二つに分類、それに偶像曰く。永井柳太郎、曰く曉烏敏、そうでなかつたら、若い生如來樣の〇〇〇　〇〇〇〇〇〇〇涙をこぼす親孝行又は親不孝　の青年たち。その中正義の爲にとて立つた北陸朝日新聞が生れた。主幹金子正弘、同人中重なる者に河原治作、田羽作二、前川加久君とかの人々、（但　週刊）進め富山縣支局は、いまのところ此の人達らに一滿期待してゐる。

各學校では軍事教練に重きを置いて軍隊上りの將校を使つてミリタリズムを靈肉兩面からたゝつ込む可く教育最中。青年訓練とかも行はれてゐる。まあ何にしても忙がしいだろうと思ふ。

公然　普選に反對するだけの力もない解らずやの金鑄主義者逹ちは天下泰平と現代を讃嘆してゐる。小學校の教員諸君中の野心家は如何にして新時代の少年たちにキヤチコヘイガラツパを口に當てたまゝ死んだ所以を說かんと考慮中。

それから資本主義新田北陸タイムスは盛んに庄川水力工事を惡罵してゐる、その思想の根幹は同新聞社長の木材會社の利益が侵かされるのだ

と云ふ。天下の爲、百姓の爲と新聞では書いてゐる。考へて見ると自己のふところ算用から割出した攻擊の由。さあ此の世相の泡の根幹に資本主義經濟と云ふ怪物が棲んでゐるのだが――（富山縣　村山銀太郎）

搾取城下にて

「此土地には農民組合がありませんか」「ありますよ、あの停車場の西の方の二階屋が事務所です」答へられる儘に行つて見たら、なんだ農會事務所だ。「此の町に勞働組合がありませんか」と問へば「事務所は湖水の波止場の直ぐ北です。」これは洒落てゐると答へられる儘に尋ねて見たらなアんだ。朝鮮勞働協會と云ふブルジョアーの二重搾取機關なんだ。これで大方此町の状勢が分るであらう工場は四つある。勞働者は四工場で約千五百人、内女工千人、工場の人事係長は申合せた樣に警察署長高等課長憲兵中尉等と云ふ私有財產の番しに生れて來た人達の古手ばかりだ。忘れた事。專賣局と云ふ準刑務所がある。此處には男女約七百人の兄妹等が申分のない程搾られてゐる。彼奴等は血眼だ。資本主義も愈々斷末魔だ同志は殖へる一方だ。（昔三十萬石の搾取城下　吉田源藏）

無組織な新潟

十萬餘の勞働者を有する新潟市は北越切つて東北切つて工場である、内務省信濃川工場、白石、新潟鐵工所、名古屋紡績を始めとして二十幾つの工場はあるが、眞の組織勞働者は一人もないと云つてよい位だ（勿論嘗日本勞働組合本部は二三年前組織せられた痕跡がないでもないが）名を勞働に借りて糊口の寄贈に遊興を事とするブローカーは（今日和山あたりに毎夜、行者らしく出るらしい）、從つてブルの懐柔、引いては豪遊と新潟美人、藝者を產む一因となつたが、美人藝者と云つても矢張ブロに相違ないと、過般朝鮮に無產運動を續けた浪人サイトウヒロ二君と元機械聯合の財政委員齋巻一作君とは、蹶起となり勞働者の總組織をせんと奔走する折柄、木崎村小作爭議應援の爲來潟を機として一夜演說し近々具體的組織運動に着手の筈。（新潟　濱田浪雄）

嗤ふべき勤儉獎勵

現政府の國民に對する目標の一として勤儉獎勵と云ふ事をやつて居た。これ即ちブルジョアー階級が我々プロレタリア階級の、膏血〇〇の一手段なのだ。勤儉其ものには良い事だ。然し現政府の勤儉政策は勤儉政策にあらずして貧窮政策なのだ。見よ！其日々々飢と寒さの到來におびへつゝ號泣する勞働者を！喰ふに食なく、住むに家なき、襤褸をまとへる失業者を！滅び行く農村を！

政府勤儉政策の假面を冠る其の裏面の恐ろしさ。嗤！勤儉政策か？貧窮政策か？。プロレタリア諸君よ！（岐阜縣　H・Y生）

團結の必要

小作人組合員曰く「私達は搾取に搾取を重ねられて始めて茲に小作人組合を作つた。只今の收入は一年に一反歩に付六俵取れ其中一俵を地主に年貢米として收める。又一俵を肥料として、小作人の實收益は四俵であります。」

第一未團結無產者。「私達は一年に一反歩の收益が七俵取れ其内三俵を年貢米に一俵を肥料に實收益は三俵である。」

第二未團結無產者「私達は一年に一反歩の收益が八俵取れ其内四俵を年貢米として搾取者に、一俵を肥料に、三俵が實收益です、私達は一番苦勞して居りますれ。」

無產者諸君聞け此の對話を！何たる差だ。現在資本主義社會に對する我々に與へられたる一大武器は團結なのだ。力なのだ。團結の力なのだ。全日本の無產者！起つて其の力によつて組織せよ、あらゆる組合を團體を、結社を。然かして身も心も自利の爲め變つて居る資本階級の前に其武器を突つけろ。人道正義の刄の前には何者も無いのだ。〇〇せば〇〇せよ、そして叫べ、正義の叫びを！（名古屋　鬼頭銀治）

錯覺せる驛長

去る六月二十日、午前九時二十分、私はある用事で仕方なく茨城縣筑波鐵道北條驛からブル氣取りで二等車に乘込むと間もなく乘務車掌が來て檢札を行なつた。と間もなく同乘してゐた同鐵道眞壁驛の石井某と云ふ驛長が立つて來て私の前に乘つて居たみすぼらしい四十前後の男の前に立ち「君乘車券は違はロかれ」と云ひながらポリスマンが罪人に接する樣な態度で詰問した。其男は靜かにポケットから青切符を出して示したので石井驛長は一言もなく元の席に納まり返つた。之れは一寸何んでもない樣に見へるが落ついて考へた時、私共の頭にはどう響くか？諸君それは云ふまでもなく所謂識者とか仰しやる有閑階級のドエライ奴等が盛に新聞や雜誌にお書きになる差別撤廢と云ふ事である。假令千萬の富を有する資本家でも、其日のパンに追はれる私共の樣なプロでも汽車に乘れば矢張り鐵道の御客樣々である。檢札するなら乘客一般にやつたら良いぢやないか。フロックを着た者も菜葉服を着た者も御客は御客だ。殊に乘務車掌の檢札した後、御かご達の驛長が出る幕ではないのだ。我々無產者には汽車を只で乘る樣な者はないんだ。それよりか有閑階級の不正乘客取締りでも嚴重にしちやどうだ。有閑階級のたゞ乘りがざらにあるんぢやないか。同じ人間だ。人間に差別があるか。平等差別撤廢を叫ばるゝ世の中だ。少しは考へてやるが好い。（茨城　好鳴生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新社會の勞働と慾望生活の關係

吉田源藏

新社會……即ち社會主義の世の中になつたら、各人の勞働能力と、各人の慾望生活とが一致しないから結局怠け者が出來はせぬか。と云ふ事は、社會主義を究めようとする者、及びこれに反對せんとする者等の常に發する質問であり、抗議である。これ實に資本主義なる現在社會の洗禮を受けた人、資本主義によつて總べてのものが培はれてゐる現代人として、社會主義に對して當然投げかく可き疑問であり、反對であらねばならぬ。

實に無理もない話しである由來資本主義社會なるものは、慾望の社會であり、慾望生活をするところの……それ以外何者もない社會なのである。であるから資本主義社會では社會の根本土臺も、其の上に建つて居るものも皆、言ひ換へると資本主義社會では、經濟組織も、政治も、教育も、藝術も、宗教も、哲學も、科學でさへも慾望の爲めのみに役立つ可き使命を持つて居るのである。隨つて資本主義社會の生産が慾望を目的として爲されるのは當然の事である。ところが慾望と、人間の生活とは必ずしも一致するものではない。のみならず個人的慾望は社會人の生活を脅かす事が多いのである。

資本主義社會は斯く個人の慾望を中心として組み立てられて居るが故に、人間が總べて慾望の爲めのみに活動する。故に各人が多く得ると云ふ觀念に支配されて、慾望より今一つ奥底に潜んで居る大切な人間の本性が出て來る事が出來ないのである。此の奥深く潜んでゐるものこれを偉い人達學者共は『衝動』と云ふ六ヶ敷言葉を使つて言ひ現はして居るが、吾々無學なプロ連中は何もそんなに六ヶ敷い學術語を覺へて置く必要もないが、兎に角その『衝動』と云ふ奴が、慾望と云ふ奴より奥の方に居る事は事實なのだ。

ところで『衝動』と『慾望』はどれだけ違ふのかと云ふと、慾望と云ふのは欲しいと云ふ事で常に或るものに不自由をしてゐたり、又不自由してゐなくともより以上に欲し得らるゝ境遇にあるものが望むところのものなのである。そこで今度は衝動と云ふやつだ。これは欲しいと云ふやうなくだらない、つまらない卑しい望みではないのだ。ハッキリ定義することは困難だが、假令て見れば、「行るぞ！」と云ふような氣分……心持……觀念を云ふのである。も一ッ分り易く言つて見るなら何の心配もない、食ふ心配も、着る心配も、住む心配も、遊ぶ心配も、學ぶ心配も、樂しむ心配も、病む心配も何のこだはりもない人が、一體俺は何處迄歩けるか一ッ試して見やうと云ふやうな、其の心持ち其のものを云ふのである。で、このような心持で生活するのが衝動生活と云ふのであつて、常にあれが欲しい彼れが欲しいと云ふような生活が慾望生活と云ふのである。

慾望生活と云ふやつは現在の資本主義社會で行つて居る此の賃銀勞働や、企業投資の生活の全部がそれなのだ。賃銀勞働者はいくら働いたつて生産したものが己れの手許へ還元して來ないから、常に不自由勝だ。だから欲しいと云ふ慾望生活から解放されない。又資本家共は何不自由なく生活してゐても、彼奴等は有るにまかせて贅澤をする。贅澤には限りがないから彼等は贅澤の程度を向上さす爲めにより多く儲けようとする。つまり多く得る事は欲望生活だ。資本主義社會ではどんなに形を更へて見たつて此の慾望生活からは一歩も出られないのだ。

ところが、ところがだ。社會主義の社會に於ては、所謂新社會なるものに於ては、慾望と云ふような奴は全然何處かへ消へて無くなつて仕舞ふのである。何故かなれば人間が皆衝動生活をし得るからだ。つまり欲し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

いと云ふ様なケチな根生が各人から取り去られて無くなるからだ。新社會では各人の生活……食ふ事も、住む事も、學ぶ事も、樂しむ事、育兒、保健其の他一切の事が社會から保證して貰へるから慾望なんかは全く消へて無くなるのである。そこで人間は、新社會に於ては勞働さへしたらよいのであるから、人間の本性が慾望と云ふこだはりがないから飛び出して自由に活動するようになる『行るぞ！』と云ふ所謂衝動生活に這入れる譯だ。

人間は誰しもが自己の力作を樂しむ本能がある。賃銀勞働と云ふ慾望勞働には疲勞と同時に大なる苦痛が伴ふものである。昨日迄一日二圓であつた勞銀が今日から五圓になつても、やはり終業時間は待ち遠い。それは賃銀を得ると云ふ慾望の生活であつて、自己の力作を樂うさする勞働ではないからだ。然しながら疲勞と苦痛は必ず伴ふものではない。人間が自己の力作を樂むようになれば必ずしも疲勞と苦痛は附くものでなく、寧ろ快感を覺ゆる位である。工場に於ける一時間の賃銀を得る慾望勞働は實に苦痛であるが、日曜日に於ける終日のテニスは、其の身體は綿の如く疲勞してゐても何等苦痛は感じないものである。此の場合のテニスに於ける勞働は、即ち自己の力作を樂む衝動から來る勞働なのである。

社會主義社會に於ける勞働は此のような自己の力作を樂み得る衝動勞働であるが故に、言ひ換へると新社會の人間は慾望生活でなしに、衝動生活を營むが故に、現代人が豫想するような『俺は彼奴等より餘計に仕事をするのに同じ生活だから、つまらぬから明日から少し遊んでやらう』と云ふやうな人間は斷じて出るものではない。現に慾望生活をして居るものが、資本主義社會に立脚して新社會を見ようとするからおかしな感じがするのであらう。社會から生活が萬人平等に保證せらるゝ新社會では、音樂も、映畫も、教育も、其の他一切が享けられて、彼れに與へらるゝものが吾れに無く吾れに有るものが彼れに無いと云ふ社會ではないのだから、欲しいとかつまらんとか云ふ人間は絶對にないのである。

新社會に於ける人間は總べてのものが勞働するのであつて其の勞働が資本主義社會のような賃銀とか、儲けだとか云ふ事によつて働くのでなく全く社會の爲めに勞働するのであるから、社會に必要なだけ働けばよいのである。八時間勞働と云ふがそれはやはり資本主義社會の慾望生活の爲めの勞働であるので、恐らく新社會では三時間も勞働したらよいであらう。彼の森林生活の著者トローは『各人は一年に六週間勞働すれば生活が出來る』と云つてゐる。

それは兎に角新社會では怠け者が出來る等とは大間違である新社會に於いては各人が一切の慾望を離れて、積極的に仕事をするようになる。

夫ところか各自が力作を樂しみ得る苦痛のない勞働に從事するから生産は其の質に於て其の量に於て全く藝術品を拵へる事になるであらう。

此處に云ふ藝術品とは現代社會の商品としての藝術品ではなく、人間が全力を傾注した力作品と云ふ意味である事を、附記して此の稿を、終る事とする。

滴彈
役人と軍人の頭

由來役人と言ふものは頭の古いものと言はれてゐた。又軍人はそれより尚一層古い黴の生えた骨董品として取扱はれて居つた。然るに先控長野縣騷擾事件の際縣知事や警察部長は民意を少しも恐れないで、示威運動のある日に浴衣掛けで細君と酒を呑んでをつた。

彼等は輿論などはサーベルの力で押さへられるものと思つてをつた。浴衣掛けで叩かれるとは不謹愼も甚だしいと言はなければならない。輿論沸騰して巡査の力ではどうにもかうにもならなくなつてきたので彼等は今度は軍隊の出動を濱口内相に交渉した濱口内相は直ちに長野聯隊に向け出動命令を發した。然る處長野聯隊長曰く「宜しい。軍隊出動は承知致しましたが、私の方の聯隊は此の地方の者ばかりです、若し兵隊が此の民衆運動を理解した曉はどうなさる。」と言つた。ので折角の名案出動命令はオヂヤンになつた。

知事や大臣は輿論を恐れない。其の恐るべき所以を知らない輿論は決して武裝してゐない。武裝をしないから恐くないと思ふ奴は近視眼であつて、國家を治める資格のない者である。法律を作り、兵隊や巡査を増せばそれで民衆は押さへつけられるものだと思ふと大きな間違である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鈴ケ森だより

進め社の立場を地方同志に告ぐ

■進め社は久しく、ロシヤに反對して居る。思想的にはマルキシズムの立場から實際運動に於ては無產階級の持場から現在の露國權力階級の僞瞞に、間斷なく攻擊の火蓋を切つて居る。

■吾等社會主義者は容のみに憧れるファンであつてはならぬ。ゴマカシ主義者、ダラ幹、ゴマの蠅を監視しなければならぬ。そして現在のロシア官權に其誤れるを矯正してやらねばならぬ。

■ロシヤの事なら何でもいゝと思ふ者は理智に劣しき者か、低腦兒か、或は爲めにする猾であつて吾人の共に談ずる能はざる輩である。

■私に一人の友があつて不心得な事をしたと假定する。私は默許する事は出來ない。進んで其誤を誨へ、正しきに導く事が友たる私の義務である。此不心得な事を辯護するものは、此不心得者より以上の不心得者だと云ふ事は又云ふに及ばない。

■私はロシヤに追從阿諛するもの多き今日に於てロシヤに反對する事を誇ころものである。マルクスも之れを地下で喜んで居るであらう。

■歷史は最後の審判者だ。後世に於て進め社の硬骨清廉雄大なるを認めるものがあらう。讀者諸君よ。決してロシヤに中毒する勿れ。友の放蕩を善人と庇ふ勿れ。吾等の進むは自由への道、平等の社會だ。(卿庭)

討閥同盟

■最近諸所に於て、ゴマの蠅征伐が起つて居る。蠅と云ふ動物は少し許り叩いても又すぐ蘇へると云ふ事は諸君の知れる所である。橫から撲る事は蠅叩きの上手なるものではない。進め社は何時でも力を借す。百人の勇士は腕をさすつて居る。本當の無產階級鬪士よ、しつかりやれ。

■地方などにあつて流言蜚語を飛ばすゴマの蠅があつたならば其姓名と日時と其所と云つた事實を本社に報告せられなば本社は即時に之に對して、制裁を加ふる準備をして居る。無產階級運動を攪亂する妖怪は徹底的に退治しなくてはならぬ。(竹井)

熱血の叫び

■秋が來た。活躍すべき秋！ 鬪爭の秋が來た。吾等無產者を苦しめた暑熱は何時しか去れり。たゞ去らざるものは壓迫と橫暴と迫害の毒牙の光、それこそ將に覺めんとする吾々無產者を攪亂する妖怪の毒光のみだ。此時吾等は起つて誓ふ。此吾奮鬪を。正義の戰の死を。見よ！ 此吾が陣容を!! 吾等の進む所は自由の樂園なのだ。行路は正義の公道なのだ。正義の前に何物が立つ事が出來やう?。あたれば倒すまで、背けば滅す迄だ。全國の同志よ！ 徒らに此秋を悲しむ勿れ。躊躇する勿れ。諸君の求むるものは眞の自由なのだ。平等なのだ。湧く血は正義なのだ。

■もし、諸君の近くに妖怪の毒牙近づけば斷然斥けろ！ 然して聞かざれば一刀兩斷せよ!! 假面を冠れる妖怪はブルより先づ第一に絕滅せればならぬ。彼等妖怪は口に自由正義を叫びながら、心身吾等の進路を斷ち毒牙を以つて吾等を傷けんとする一大恐敵なのだ。覺めんとするものを空想へ、將た陷落へ導き、或は暗黑へ陶醉へ落入れんとする恐るべき惡魔なのだ。今や其妖怪は至る所に蜂起せり。加ふるにブルには吾が自由の樂園を蹂躪され、正義の公道は壞敗されんとして居る。嗚呼！ 多事なるかな!! 此秋よ！ 全國の同志諸君！ 俺は諸君の前に死を賭して奮鬪を誓ふ。

■現在我等に與へられたる唯一の武器は力だ！ 團結の力だ。吾等は此れによつて自由の樂園へと正義の公道を猛進すべきだ。全國の無產者團結せよ！ 全國の同志起つて、而して突進せよ!! 奮鬪せよ!!(工藤)

原稿を募る

評論、創作、隨筆、詩歌、全士戰報等の原稿を募集する。但し取捨は編輯者に一任されたい。不掲載のものは御希望により返送する。同志諸氏の奮つて投稿されん事を望む。

編輯室より

■今月は實に多くの原稿を得た。今後の本誌はより良いものになつて行く確信を與へられる。卷頭言の「共產黨排すべき乎」は、我が社が從來筆に口に叫びつゝある閥賊共產黨一派排斥に對し、恰も我々は共產主義を排斥せるかの如く曲解せらるゝ同志なきにあらざる爲め、其の誤りを解くべく茲に記した次第である。

■創作「狂人の戀」の筆者吉田金重氏は諸氏の夙に知らるゝ如く、新進プロレタリア文士として極度の貧困と鬪ひつゝある燃ゆるが如き鬪爭意識の把持者である。

■進めは猛烈な勢ひで發展して行く。今や發行部數正に拾萬を超ゆ。廿萬を算するの日亦遠からず寫眞集及び勞働運動小史も好個の出版物として意想外の歡迎を受く。

■本月の末に第二回目のメダルが出來上がる。第一回目のメダルは意匠極めて惡しかりし爲め、再び考案して新調する事になつた。意匠は本誌第一頁のカットの中央を縮少したもので、勞農兵團結を表徵せるものである。價二十錢の豫定。支局及び讀者諸氏は豫約して置かれたい。

(松山)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

解放運動史上の人々

フランツ・メーリング（下）

淺野研眞

八

メーリングは又、プルードンや、ヴァイトリングや、バクーニンをも公平に取扱ふやうにと努めた。然し彼等の理論的缺點は、完全に評定してゐる。ラッサアルに就ても同樣である。バクーニンをば彼は、彼に對して爲された樣な嫌疑から取除いてゐる。而して彼はマルクスが如何して彼等を信ずるに至つたかを示してゐる。ゴータ會議の時に、獨逸の黨へマルクスが送つた有名な手紙に關して、彼は極めて結論的に、其は黨内の事件の眞の狀態の誤解である。と云つてゐる。該書簡の英譯への序文の内にある古傳――若し當時獨逸の同志等がマルクスに傾聽したならば、改良主義の精神は黨内に入らなかつたかも知れないと云ふ古傳――は、完全に虛妄であると示されてゐる。ラッサアル派とアイゼナッハ派との間に、そんな境界線があつたのではない。即ち、アイゼナッハ派がマルクスの考へてゐた程に遙かに進歩して居たのでもなく又ラッサアル派が遙かに遲れてゐたのでもない。マルクス的諸原理の知識に關しては、當時に於て其間多く選擇されてゐない。即ち其は確かに『諸派』の間に烈しい戰を防がなかつたし、又マルクス的諸原理は、推察する所、大して左樣には爲して居なかつた。

九

マルクス及びエンゲルスの遺文編纂の問題が起つた時には、ラッサアルのマルクスへの手紙の時に於けると同樣に、ラファルグ夫人――生き殘つてゐたマルクスの唯一の娘――は、メーリングが彼女の父なるマルクスのラッサアルに關する動作を批判して居たと云ふことを良く知つて居たにも拘らず、メーリングにその仕事を委した。三卷の遺文集にメーリングが附けた種々な說明的論文や註釋は、明かに適當した最良の序文だつた。メーリングは自分がマルクス傳を書かうとして居ることを發表した時も、全く同じであつて、凡ての可能なる妨害が、カウツキイによつて爲された。尙ほ他の人達も、彼がマルクスを惡く言つたと云ふ廉で妨害した。メーリングは彼を惡く言つたのではなくて、マルクスは彼の偉大性を人間的虛弱性のない一種の石膏聖者であることに負ふのではない。又は彼は凡ゆる機會に於て――即ち出版の意志のない興奮した時に書いた手紙に於てさへ――錯誤の可能性に向つて導いた確實な判斷を有つて居たとも言へやう。此に反してメーリングはマルクスの强點と弱點との兩方を示さうと試みた。マルクスは殊に、大なる妨害にも拘らず、追放、迫害、貧困、疾病、及び不遇にも拘らず、ブルジョア新聞及び出版物によつて彼の書いたもの〻總てに及ぼされた不買同盟にも拘らず、而かも彼の貢献は、莫大な著作をなし、一つの體系を打ち建てた。而して其の體系に對しては、五十年間もブルジョアの批判の總ての武器が試みられたが、遂に駄目であつたので、今日ではブルジョア大學の圈内に於てさへ認められざるを得なくなつてゐる。此のマルクスの考へを表明することに於て、メーリングは確かに他の誰れもが爲し得ない所のことを成就してゐる。メーリングの『マルクス傳』は、近年に現はれたもの〻中では、最も立派な著作であり、且つ確かに特に優れたマルクス傳記なのである。

十

メーリングの偉大なる立派性と學者性とは、彼が『ノイエ・ツァイト』に書いた每週の卷頭論文に現はれる。簡單で、奇警で適切であり、論旨的で、且つ野鄙に流れることなくして日常語で表はされて居り、明かに且つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單に生噛りに留まることなく、理解し易くなつてゐる（たまには論文が頭上への釘を打ち損ねては居るが）。而して尊大でも衒學的でもなくて、その週の出來事のより深き意義を指摘してゐる。如何に僅かしか讀者が筆者の觀點と共鳴しなくても、殊に其等は優れて讀むに足るものである。嘗つてモロッコ問題のために、戰端が開かれんとしてゐた時の彼の論文がある。メーリングは御得意の方法で、馬上で睡りに落ちてゐる所の騎士、及び急に目を醒して自分が丁度通つて來た所の狹い板の上や、深くて底の知れない深い淵を見出す騎士の昔噺に關說したものである。全世界の勞働者が彼等自身を見出した所の狀態に當時適用した該說明は、立派なものであつた。とは云へ、一九一四年には、その脆い橋が壞れて、大衆を深い淵へと投げ込んだ。

十一

メーリングの度胸が再び試驗された。そして大戰中は特にスパルタクス團の一指導者として英雄的に働いた。若し人『スパルタクスの手紙』を讀まんか、彼はメーリング、ローザ・ルクセンブルグ、クララ・ツエトキン、及びカール・リープクネヒト等に靈感されてゐた該小團體の立派な度胸を讀むべく餘儀なくされる。彼等の戰は唯に帝國主義の殘忍性に對して爲されたのみでなく、又第二インタナショナルと其の指導者等――大戰中に大衆を裏切つた所の――とを激勵するにあつた。スパルタクスの手紙の眞面目なるに比すべきものは、佛國にも英國にもない。此等の書簡に於ては、ローザ・ルクセンブルグの書いた所謂『ユニウス・パンフレット』や、より大膽な表明を以つたカール・リープクネヒトの小册子『戰爭に對する階級鬪爭』などに於けるよりも、より多く第二インタナショナルの指導者共の態度は、慈悲もなくヒッパタかれて居る。そして文字で書かれた政府の政策は、たとひ其が等しく獨逸に於て必要であるとしても、誰れも攻擊したものはなかつた。大戰中、吾々の文書は凡て『合法的』であつた。そしてスパルタクスト等は、合法性――彼等が獲得の機會を持たないと考へた所の――を持ち出すやうなことはしなかつた。

メーリングは、マルクスに於けると同樣に、知識、意志力、及び道德的勇氣が結びついた稀に見る所の人物であつた。全く斯かる勇氣は人をして、非常に多くの人にその主義主張の裏切を隱さしめ得るであらう所の誘惑的な一般化の影響の下に於てすらその小路から遠ざかるべく全誘惑に反抗せしめ得るものである。そうして吾々は今日、獨逸に於て、自分等の裏切を正義化せんためにマルクスの歷史的唯物論に訴へたり、鬪爭を棄てたりする所の、知識階級の悲觀性なる光景を見せつけられてゐる。あるロシアのマルクス主義者は、たしかに、マルクスは資本主義を擁護するためにも用ひられ得ると云ふことを發見した所の最初の人であつた。大戰は吾々に、特に獨逸のマルクス主義者の間に、マルクスを誤用することが如何に可能であるかを示した。そして又、その老人をハイゲートの墓の中へ押し込めて置くに充分な手段方法を敎へた。

カウツキイ派のマルクス主義には、メーリングは何等與みしなかつた。彼はその友、ローザや、クララや、カールと共に行動した。

メーリングは、シャイデマンや、ハッセや、カウツキイやの政策の失敗と結果とを見るために生き殘つては居なかつた。彼はフックスが云つたやうに、カールとローザとの屍棺の上に死んだのだつた。

メーリングをも同時に射倒すほどに運が良からうとは、反動主義等も夢みなかつたことだつた。幸福なことには、クララ・ツエトキンだけは、その三人の偉大な同志の運命を脫がれた。メーリングや、ローザ・ルクセンブルグに、知識の王國に於て比肩し得るものは、今日の全勞働運動中、世界の何處にも無いだらう。彼等の死は、吾々の共通の損失であつたのだ。（完）

フランツ・メーリングに關する事は日本に多く紹介されてゐなかつたが淺野研眞氏の三回に亙る譯に依り其の傳記の片鱗を知り得た事を讀者と共に喜ぶものである。―（編輯子）―

創作

狂人の戀

吉田金重

「女どしちやなんだね？」

「いや何、それや譯はありませんよ。」こともなげにいつた若菜は、急に聲を落として、「あれ、あの廊下をうろ〳〵してゐるのが絲倉です。この癲狂院の看護婦ぢや一番年が若くて、容貌だつて惡かあありませんからね。それにどても熱情的です、燒けつくやうな心臟をもつてゐますよ。僕は彼の女の前に出ると、ボーッとしてしまふのです。チヤームされるとでもいふのですか。身も心も、すべて投げ出してしまひたくなるのです。」

「ぢや、君は絲倉に戀してゐるとでもいふのですか？」

私は、患者の顔を瞶つた。私の頭の中を遊戯の時間ごとに、女病室の窓際に吸ひよせられ、親しさうに語り合ふ、男女の一組が旋轉する。患者は、息急き詰めよる。

「癲狂院内で戀するといふことが惡いことでせうか？ 患者が看護婦と愛し合ふことが、いけないことでせうか？ 僕は戀愛するのはどこであらうと、誰であらうと、自由だらうと思ふのです。」

「それや、僕だつて否定しない本眞劍であればあるだけね。」

「田中さんもさう信じてくれますか、さう？」

「信じるといつていゝのか、とにかくさう感じるのです。で、絲倉は君に戀してゐるのですか？」

「それや、あのなんですが……」

患者は、看護人の顏を探り、「僕その、こゝではつきりいふことが出來ないのです。だつて絲倉は護看婦ですから……まあ田中さん、考へても見て下さい。かりそめにも絲倉が僕に戀してゐるとなれば、患者に戀してゐることになるのですからね……さうした看護婦は、表面どう判斷されるでせう？」

「どう判斷されたつていゝぢやないですか？ お互ひが本眞劍であればね……」

「いや、それやいけません。」

窓際をつと離れた若菜は、病室の入口に背をもたせながらも、庭園はるか彼方に視線を輝かす。癲狂院内の事情に暗い、新米看護人の私も、この看護婦と患者の戀愛に對して、少なからず嫉妬を感ずる。しかも、寂寥たるこの夜の半ば頃に……。

患者達は、絶えず便所へ往來する。彼等のある者は、硝子戸に顔を映してにた〳〵笑ひ、他人の暗い室を覗き込んで、掻つさらひを企らむ。中には、火鉢の側に踞つて灰を掻き廻し、寢卷の袂から新聞紙や、淺草紙を出してくる〳〵丸め、それに火を點けて美味さうに喫ふ。また〳〵私をおびやかすのは、ある患者が退院の便宜を與へてくれとか、こつそり逃がしてくれといつたやうな要求もまだるつこくなつて、區劃の扉を押し明けるか、或は鐵窓の破壞を試みることだ。それにしても彼等の限りある智慧と、體力とを知り過ぎてゐる彼等は、目的の、十分の一も果たさないうちに、小つぴどく打ん毆られ、足蹴にされ、胴上げにされ、或は裏門から退院させられないと、どうして保證することが出來やう？ 私は、警告せずにはゐられない。

「君達は、いくらあがきもがきしたつて、こゝを一歩だつて出られるやうなことはない。なまぢつか、ほかの看護人達の眼にかゝらないうちによし給へ。僕は、結果を見るに忍びないから。それとも君達が、大擧團結してことをやるか？」

いつもの三人の夜勤番が、今夜に限り一人しか見あたらないことは、彼等に取つて都合が好い。まして新米看護人の私は、あまりにもお人好しである。一組になつた第三區、第五區の夜勤看護人は、第四區の私にすべてを記して置いて、病室裏の娯樂室の片隅で、骨牌に魂を奪は

れてゐるのだ。

腹がふくれてゐるのと、夜間の靜寂さとは、小地主の伜を正體もなく眠らせた。私は、門を外して中へ這入つた。石炭酸と片腦油と、糞便の混濁した臭氣は、むつと鼻を剔る。

「おい、半七、こら起きないかッ、起きて便所へ行くのだ、便所へ……」

私は、不潔にじくじくした布團を引んめくつたが、動物の臥せつたが如き半七は起きやうとはしない。私は、温氣をおびたが如き、づるづるした生温い腕に手をかけると、力まかせに引き立てる。

「どうするんだやあ？　飯でもくれるんかやあ？　あゝん……」

やつと五體を起こした半七は、眼をしよぼしよぼさせながら呻いた。私は、廊下へ押し出しながら、

「便所へ行くんだ、便所へ……」

といつた。

「それぢやなんかやあ、便所へ行つて來たら飯をくれるんかやあ？　あゝん……」

「さうだ、温順しく行つて來たらやるかも分らない。早く行つて來い。」

「うん、それぢや行つて來るかな……飯をくれるなあ、それやあゝ嘘ぢやあんめえなあ？　あゝん……」

「嘘ぢやない、早く行つて來い。」

まつたく、食ふことを唯一の仕事と心得てゐるこの患者は、かうでもしなければ十日でも、二十日でも、恐らく生涯を不潔の中に、身體を埋めてゐたかも分らない。私はかうした患者を次から次へと起こして便所へ追ひやつた。そこへ第三區の阿部と、第五區の大塚とが、ばたばた出て來た。

「田中君、すみませんでした。何も變つたことはなかつたでせうか」

大塚は丁寧だが、快活に訊いた。阿部は、そんなことはどうでもいゝといつたやうに、便所の脇の藥棚から鍋を下して、その中を掻きませながら、

「さあ、これから夜食のこしらへでもすべえか……大塚君、何が好かつぺえ？　またおぢやかそれとも燒飯か？　えへッ……」

と首を捻る。

「巧くやつてくれ給へ、君にまかすよ。」

大塚は、懷中鏡にちよつと顔を映し、中分けした薄い頭髮に櫛をあてると、そのまゝ自分の受持の方へ出かけた。

「どうでえ田中君、花引くべえか？　えへッ」

巧者な手つきに、飯を小判形に握りながら、阿部は笑顔をつくつた。

「面白いかね？」

「面白えや。俺はちよんの間に板橋へ一晩バスしたつけな……どうでえ、引いて見べえけえ？　えへッ……」

「いつでも、はゝゝ」

私には經驗こそないが、興味がないでもない。最近の私は、人生の一六勝負を、もつとも放逸の中に求めやうといつたやうな氣をしばしば起すことがあつたから――概念的な言葉が許されるならば、當時の私は人生のあらゆる理想を失ひ、絶望のどん底にあつたから――

「若菜君、君はまたそこで何をしてゐるんだ？　惡戲をしちや困るぢやないか？　早くあつちへ行つて寢ろ！　ほんとうにひどいぞ！」

第五區の奥まつた、女病室へ通ずる扉のあたりで、大塚の叱りつける聲がする。ふと氣づいた私は、一號室を覗き込んだ。一時間ばかりも前に寢んだ筈の若菜の姿は、そこにはなかつた。

「そんな亂暴をしないで、放して下さい。僕は、僕は用事があるのです！……」

「誰に用事があるんだ？　いへッ」

「そんなことをいふ必要はありません。」

「なんだと、この生意氣な！」

ぴしーッと、頬面をはりつけられた若菜は、なほも大塚に襟首をつかまれながら、押しつけられて戻つて來た。そして、火鉢の前あたりで、小つぴどく突き飛ばされた。危くつんのめらうとしたのを、やつと踏みこたへた若菜は、身がまへしながら聲を振り絞つた。

「亂暴な！」

「ど、どうしたつてんでえ？」

阿部は、手傳ひたさうに立ち上つた。より亂暴な、阿部の腕前に懲りてゐる若菜は、怨めしさうにすごすごと、自分の寢室に姿を消した。――以下三十頁へ――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想郷物語

社會主義社會（1）

西下貞

序

吾々はユートピアンでない事を常に信じ、飽くまでも現實を直視して、歩む一歩々々に絶對の力を以つて大地を歩み締て往きつゝある。

だが吾々は吾々の辿り着く最後を視つめやうとする。そして一つの理想を描く、けれ共それは空想ではあり得ないだらう!!

理想は現實の影である。

吾々の描く理想郷——それは決して夢ではない。

實在から映する處の一つの影である。

鏡では現實へ!!

×　×　×

此の「或る男の見聞記」は、トーマス、モアの「ユートピア」及ウイルアム、モリスの「無何有郷物語」に依る處の多き事を附記す。

或る男の見聞記

ウイリアム・モリスの著である『無何有郷見聞記』の第一章『議論と臥床』の書き出しに、或る友人が私にこんな話をした。——ズッと以前のことであるが、或る夜、數名の人々が或る處で會合して、盛んに議論したことがある。話題は、いよいよ『革命の曉』になつたら、どんなことになるだらう。どんな結果が生れるだらうといふやうなことから、一體社會が充分に發達を遂げて完全無缺になつたら、結局どんな狀態のものになるだらうといふやうな問題に落ちて行つた。

座中の面々がそれに就いて各氣焔を吐いたのである。

こう書かれてある。

この『或る男の見聞記』も、こうした場面から進展して行くものであると想つてもらへばいゝ。

薄暗い燈火を圍んで語り合ふ或る男等のグループは、六人の工場勞働者であつた。

と或る男は、私に話した。

話題も矢張り社會革命後に來る新しき社會と云つたやうなもので、その夜の話題は、グループの一人が持つて來たもので、多分モーリスの『無何有郷物語』と、トマス・モアの『ユートピア』との二つから出たものらしかつた。

話題の中心は、こうしたものであつたが、互ひに議論をたゝかはして往くに從がつて、互ひの抱ける異なつた理想論が、その話題に枝をつけて葉をつけ何時の頃にかモーリスやモアからは完全に離れてしまつて、一つ新しき（モーリス及モアの描き出した理想と異なつた）ユートピアを論理上に型成したのであつた。

或る者は〇〇〇〇世の中を想像した、或る者は〇〇〇〇〇〇〇夢見てゐた。

中には眞面目に〇〇〇を論じそこに營なまれる人間生活の總てを想像した。

そしてそれが軈て來る可き新しい社會だと主張した。

こうした各々の異なつた理想と議論は、只沈默を守つて聞いてゐる私の頭の中に次から次へと一脈の連絡をつけて往つた、そして軈てそれが一の型體を持つて一層ハッキリと、私自身の理想郷が出來上つた。

その時私は、こう吐きました『實際に一日でもいゝから見る事が出來れば』と。

或る男は、又言をついだ。

それから後の私の頭の中には、只平和と安息の時代、清淨と微笑める善意との時代に對する漠とした希望を除くの他、ほとんど何の痕跡も殘さなかつた。郊外に在る私の下宿へと歸途ついたのは、もう餘程をそかつた。

下宿に歸つてから後の頭の中にも矢張りそうした事で一パイになつてゐた。それが不思議な程に爽かな氣持を與へた。

晝間の勞働の疲れは、次第に眠氣をさそつて來た。

私は歸ると直ぐに寢床へ轉り込んだ、そして矢張りその氣分にジッと浸つた。

それから私は確かに眠入つたやうに想つたが、それが眠入つてゐなかつたのかも知れない。

兎に角私の見聞記は、その間に經驗したものである。

『或る男の見聞記』はこゝから始められる。

私は常時のやうに枕元の眼醒しのベルの音を聞いて起床した、その日は前日の雨に代つて一點の雲りもない晴々とした日だつた。

先づ私はその日の日課表を見た、その日は水曜だつた。

その日の出勤時間は正午で、終業が午後五時であつた

勞働は一日五時間と定められてあつて、それが各工場共に二部制になつてゐて、午前中の五時間の勞働の者と、午後の五時間を勞働する者とになつてゐる。そして午前中に働く者は午後の時間を、午後の勞働の者は午前の時間を自由の享樂に、各々の望みのまゝに行動する事が出來るのであつた。

午前と午後の勞働は、一週間毎に交代する事になつてゐる。

私はその日の勞働時間が午後であつたので午前中を自分の自由に行動した。

すが／＼しい初春の太陽は、ハチ切れさうなふくらみのある微笑を地上に投げてゐる。

青々とした新芽の行路樹の茂つた二十間幅の大道路を、父母を訪れる可く養老院へ歩を運んだ。都市の道路と云ふ道路は十八間乃至二十間幅の道路であつて、それが實に完全に出來たもので雨が降る事があつても、決して泥沼になるやうな事は、想像にもつかなかつた。

そしてそこを行交ふ人々は、前社會に蠢めいてゐた人間の想像にも及ばない程の立派な健康體で、それが又心からの愉快さに充滿してゐて少しの暗さも不安も見る事は出來ない。

勿論私も行き交ふ多くの人々と同じやうに勝れた健康體と、心の愉快さを持つてゐた。

至る處の街角の見やすい場所に大きな時計が設置してあつて通り行く人々に時間の觀念を完ふさしめるやうにされてゐる。

私はその大時計をふと見上げた、時計は八時半を過ぎてゐた。

それから私は街角のガレーヂから一臺の自働車を出し運轉し始めた、それも別に誰に答へるでもなく自由に運轉すればいゝのである。

──それ迄にそこが何處であるかを云はなければならない──

と或る男は改まつて言葉をかへした、そしてそれが何處であるかを話した。

そこは矢張り日本だつたと思ふ。

世界の極東に位して、亞細亞洲の東端、太平洋の北隅にある、面積、二、九三二一方里の島國だつた。

國内は十幾つかの小島と本洲とから成つてゐて、五十幾つかの都市がある、その位置は社會革命後に適當に設計したものであつて、凡そ一定の方里を隔てゝ、配置されてゐて、その首都は國の中間にある。

今私の話さうとするのはその首都『××』であるのだが、未だそれよりも先に、その新日本の大體を話す必要があるだらうと思ふ。

と附け足した或る男は、冷へたコーヒーを一いきに飲み干した。

そして又話り出した。

先に私自身の個人生活の一端を話しかけて話が一轉してその國の社會制度を話す事は、幾等か話が前後するやうだが、話し出しの都合上そうする事が、私には都合がよかつた爲めにそうしたのである。

と斷つた。

國の中央に位置する首都『××』は、○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○

〇〇、〇〇〇、〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇莊麗さと秩序を持つたものである。それはその首都だけではなしに總ての都市がそうである。又それ等の各都市を中心とする各縣は、面積が大抵平均してゐる爲め從つて農村の秩序も準じて整然たるものである。そして附屬する土地及び家屋等は總て國民の共有で、土地の耕作は一定の期限を定めて各自が交代的にやつて往くのである。又家屋の居住もそうである。その交代方法は、一戶の家屋に附屬する土地は大抵二家族(一家族十人として)二十人の人が耕作するに足るものであつて、その半數、即ち一家族が二年乃至は三年毎に田園生活から都會の生活に移つて往く、すると二年乃至三年の都會生活を終へた他の一家族が農村に歸つて來る、そして新しく來た一家族は、元からゐた一家族の指導の下に農業に從事すると云つた方法である。

一方都市に於ける勞働は、先に話したやうに一日五時間と定められてそれが一週間毎に午前と午後に交代されるのである。

從事する職業も各自の個性と特長に從つて適當な仕事に就くやうになつてゐて男女の區別も問はない、そして特に擧げなければならないのは、學問と實際とが距離のない事である。

職業にも制度にも總てにそうである。例へば社會主義の理論上から描き出される社會的組織が一分の距離もなく行なはれてゐて國民の實生活そのものが完全な一つの學問である。

だから貧富の差と云つたやうな事は絶對にあり得ないし、一人として徒食する者はない。又誰でも勞働に從事する事が出來る。

それからもう一つは、農村の勞働も都市の工業勞働も五時間の短時間勞働に依る生産高が、總て必要格の二倍は生産される、それは國民の全體が生産に從事するからであつて、前社會即ち資本主義社會に在つたやうな遊民(娼婦、賣僧、貴族、盗人)の存在は絶對に許されてゐない。そしてこの必要格の二倍の生産品は、毎年各町村から三名乃至四名の代表を首都に在る中央政府におくつて、各町村の需要供給高を申遂するやうになつてゐて、それに對して政府はその年か――二年乃至三年間の計劃で需要供給高が準備される程度に生産を加減しその一半を外國から輸入する必要物品との交換にあてるのである。

私の話は甚だ大ザッパな云ひ方だから徹底しないかも知れないが大體に於てこうした狀態である。

兎に角一般に國民が勞働に從事するのも、自給自足と云ふ事がその根底になつてゐるだけに少しの不愉快さも不滿も感ずるやうな事はなしに、愉快に働いてゐる。それだけに又生産も豊富で生活も裕福である。

それから輸入する物品の高だがこれも極めて少い。何しろ國内の生産が極めて豐富に潤澤であるから。

こゝまで話して來た『或る男』はふと思ひ出したやうに私の方に振り返つた。そして、――それからこう云ふ話があるのです――。

と云つて再度言葉をついで往くのであつた。(未完)

―二十七頁より續く―

大塚は、苦笑を押へ乍いつた。

「釘穴から女病舍を覗き込んで……」

「またけえ？　えへッ……」

「あれで看護婦にラブしてゐるんだよ、鎌倉に岡惚れしてゐるんだよ。可哀想なものは、可哀想なものだね。」

「えへッ、笑はしやあがらあ…」

阿部は舌打ちしながら、鐵網に焦げつく飯を裏返した。香んばしい匂ひは、あたりに渦をまき立つた。私は、ひとり惑つた。出來ることなら、私は男女病室の境の扉を解放して？……

「阿部君、ちよつと借しな。」

火鉢脇の入口から、鼻をうごめかしながら出て來て、手を差し出したのは監獄かはりに癲狂院に棲む松ちやんだ。阿部は默つて、衣嚢からほぐれかゝつた煙草入れを出した。松ちやんは銘豆煙管に煙草を詰め込み、それに火を點けながら、

「狂人の上前も、さうすると食へさうだな？俺もあとでちよつと手傳つてやらあ。」といつた。

「巧く云てやがらあ、この掏摸奴がッ、えへッ…」―九月一日―

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民を死に導く自作農創定案

友實孫四郎

（一）

現在我々農民が、汗と油の結晶である生産米を不當なる小作料にて掠奪せられ、搾取と壓迫の長き眠りより醒めて、農村文化の建設と、總ての奪はれたる權利の取返しの爲め、全國的に農民運動を起した。其して益々統一ある組織の擴大と、正しき叫びの爲め、今迄不勞所得を以つて生活して居た地主階級が小作爭議の結果、

(イ)將來農地は金で賣買する價値がなくなる事。

(ロ)土地資本を以つては今後より一層搾取する事は出來ないと云ふ不安が浮んで來た爲め自作農創定なんて、羊頭を掲げて狗肉を賣るが如き、小作人をして第二の落穴へ投げ込まんとする政策を執つて來たのである。

我等として、極力之に反對せねばならぬ。

（二）

然して、彼等地主階級の宣傳の第一として、

(イ)地下二百圓以下の所有者に對しては地租の全免をしてやる。

(ロ)産業立國の根本は自作農創定にあり。

などゝ愚にもつかぬ事を宣傳して無智なる小作農民の土地愛着の念の高きを良い事にして、瞞着せんとする裏面は前言の如く、地主階級の巧妙なる、土地賣逃策で有る事は云ふ迄もなく一方地租を全免して國庫の缺陷は何に依つて得るかと云ふと、まづ煙草の値上をした如く、一般民衆の日常消費する物品や、其他種々なる我々の氣付かざる所より、地租全免の二倍三倍を搾取せんとする彼等支配階級の、カラクリ政策より外、何物もない事を、諸君はハッキリと意識せねばならぬ。

（三）

玆に我々が自作農創定案反對運動を起す理由を簡單乍ら左に説明して諸君の批判と實行運動に努力して戴き度いのである。

第一は我等小作人は現在のまゝ耕作して居る事に依つて解放さる。

(イ)天候不順の爲めとか、其他種々なる原因に依つての不作の場合は、地主に向つて小作料の減額要求は正々堂々と出來得る事と、豐作の場合と言へども公平なる小作料のみを支拂つて正當なるが故である。

(ロ)帝國農會ですら、自作農は益々貧乏して、年々八千戸以上も減少しつゝありと發表して居る如く、現在の資本主義的經濟組織のもとに有りては、必然的に、土地所有者と非所有者との二大階級に分裂する制度であるが故無い金を都合して迄も自作農になつたとて、數年ならずして、亦々今日の如き小作人に落ちる事は火を見るより明白な事であり、一方借金して居る帳簿ばかり殘りて、其の利子に於て搾取され、層一層苦しむ故である。

第二は我等は政治行動と農民運動によつて、解放さる。

（四）

要はこうした現在のブルジョア階級の社會政策的なる僞瞞宣傳に諸君は一切乘せられてはならぬ。彼等に依つては到底我等の運命は光輝の世界へ向つて進行する事は出來ないのである。

我等の運命は我等自からの努力に依り大衆的組織と團結とに依てのみ開拓されるのである。

故に以上の事を、諸君はハッキリと自覺して土地を買ひ求めるなんて!! 自作農にならうなんて云ふ考へを起してはならぬ。

土地を買求め度い氣持はすでに我等の運動に相反する地主根性であり、我等小作人の永久に浮び揚る事の出來得ない深い深い谷底へ落ち込む事である。

全國の小作人よ!!

自作農創定案反對運動として土地不買同盟運動を速かに起せ。（完）

混沌たる我國社會運動に一道の光明を齎らす無産大衆の言論機關！

主幹 赤松克麿

民衆新聞

月二回發行 定價一部二錢

東京市芝區新堀町三十一番地

民衆新聞社

振替東京四八五一二番

支局募集！全國各地に募集す希望者は至急申込まれたし

婦人良薬 喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗 東京京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門 電話京橋五五番 五六番

金 銀 白金

東京市神田區松田町

徳力本店

高群逸枝著

戀愛創生

定價二圓八十錢 送料二十錢

本書は最も新しき體系を以て組織せられたる唯一の無産階級戀愛論であるが、同時にまた幾多の數奇なる運命を轉々して今日女流思想家の第一を以て許さる丶著者の求道遍歴記でもある。著者本書の扉に記していふ、『もし神々さまに、わたしの涙が御覽になれたなら。神々さまは、男ばつかし見ていらつしやる、そして、男の恐ろしい戰爭ばつかし。』——

堀井梁歩著

農民新生への道

定價一圓二十錢 送料十二錢

本書は米國汎農同盟の由來綱領運動方法及びその成績を綱叙し、農民運動の眞の意味と方向とを明示したるもの、農民が農民自身の力で農民自身の道を切り開いて行つた勇ましい記録であり、その實例の提供である。

宮島資夫著

金

定價二圓五十錢 送料二十錢

兜町生活を題材として掲げる郡例の長篇小說。

中西伊之助著

國と人民

定價二圓八十錢 送料二十錢

日清戰爭の内面的解剖を題材としたる稀有の長篇小說。

發行所 東京神田錦町三 株式會社平凡社 振替東京二九六三九

日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店

大阪市西區立賣堀

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸器械
プラチナ地金

精工舍時計

ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種裝身具

服部時計店

東京銀座二丁目

森永ミルクキャラメル
森永ミルクチヨコレート
森永ゼリビンズ
森永ミルクココア
森永ミルク（練乳）
森永ドライミルク（粉末牛乳）

大日本麥酒株式
會社名古屋支店

清新な趣味と實用に綾なす

◈三越には日常生活の御必要品は大低御座います

◈良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

品は良く、價は廉く、品數は豊富

三越呉服店

◇東京駿河町◇

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

御買物は常に丸菱

丸菱呉服店

東京驛前
丸ビル

御便利な商品券

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年十月一日發行 同年九月廿九日納本
毎月一回一日發行
定價 一部十錢(税五厘)半年六十錢 一年一圓(税共)
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇(振替東京六九八五二) 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二
大阪市東淀川區十三西之町 大阪印刷所